

安息日聖書教科



教会とその使命

Vol. 92, No.2

2016年4月-6月

目次

| | |
|-----------------|----|
| 各時代を通じての神の教会 | 5 |
| 終わりの時代における神の教会 | 10 |
| ご自分の教会のための神のご目的 | 15 |
| 教会の使命 | 20 |
| 伝道の対象 | 25 |
| キリストに集中すべきメッセージ | 31 |
| キリストの受肉 | 36 |
| キリストの義 | 41 |
| キリストの贖罪の死 (I) | 46 |
| キリストの贖罪の死 (II) | 52 |
| キリストの復活 | 57 |
| キリストの昇天 | 62 |
| キリストの祭司職 | 67 |

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240 Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.92, No.2

編集&発行:
S DA改革運動日本ミッション

〒368-0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607-1

TEL: (0494) 22-0465

FAX: (0494) 40-1045

URL:
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト: Illustrations:
Sermon Views on the front cover and Map Resources on pp. 4, 51, 72; Fotolia on pp. 31, 72.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

まえがき

「教会は人類救済のために神がお定めになった機関である。教会は奉仕するために組織された。その使命は世界に福音を伝えることである。教会を通して神の満ちあふれる豊かさを世界に反映させることが、神のはじめからのご計画であった。暗やみから驚くべき光に招き入れられた教会員たちは、神の栄光をあらわさなければならぬ」(患難から栄光へ上巻1)。

神の栄光、すなわちそのご品性は、わたしたちを罪ののろいから贖うために神がご自分のひとり子をつかわされた時に完全にあらわされました。その中にわたしたちに対する神の愛が表されていました。今日この愛を知らない世界にそれを伝えることが教会に委ねられています。教会員、すなわち救いのメッセージを受け、それによって変えられた人々を通して、世は愛の神のご品性の啓示を受けなくてはなりません。しかし、この愛を伝えるためには、まずそれを理解しなければなりません。この教科のシリーズではまず各時代を通じての教会の目的と使命を考察し、伝道のための理由をはっきりさせます。それから、福音のメッセージの中心的な主題—キリスト、しかも十字架につけられたキリスト—を考えていきます。

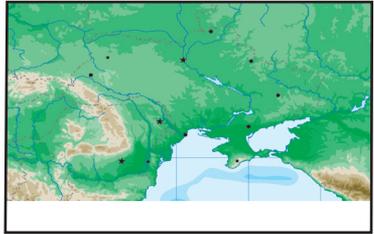
「十字架にかかれながら、キリストは福音であられた。今、わたしたちには『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』とのメッセージがある(ヨハネ 1:29)。わたしたちの教会員は自分たちの目を十字架につけられ、よみがえられた救い主、すなわち自分たちの永遠の命の望みが集中しているお方に留め続けたいであろうか。これこそ、わたしたちのメッセージ、わたしたちの論拠、わたしたちの教理、悔い改めない者へのわたしたちの警告、悲しんでいる者へのわたしたちの励まし、すべての信徒のための希望である。もしわたしたちが人々の思いのうちに、目をキリストに留めさせるような関心と呼び覚ますことができれば、わたしたちは脇へよけ、彼らにただ目を神の小羊に留め続けるようにとお願いするのである」(SDAパイブル・メンタリ [E・G・初巻・コメント] 6巻 1113)。

「わたしたちのメッセージの要旨はイエス・キリストの使命と生涯であるべきである。キリストのへりくだり、自己否定、心の低さを熟考しよう。それによって誇り高い利己的な心が、自らと、型なるお方との違いを認めることができるように、そしてへりくだることができるようにしよう」(ビュー・アノド・ハルト 1888年9月11日)。

これらの教訓がみなさんに愛を吹き込み、このメッセージを全世界へ伝えずにはいられなくなるようにというのがわたしたちの祈りです。

世界総会安息日学校支部

第一安息日献金 ウクライナ、コロンミヤの 礼拝堂のために



ウクライナは東ヨーロッパに位置し、東と北東はロシアに面し、北西はベラルーシ、西はポーランドとスロバキア、南西はハンガリー、ルーマニア、モルドバ、そして南と南東は黒海とアゾフ海にそれぞれ面しています。コロンミヤはイヴァノーフランキフスク地方に位置し、ウクライナでも絵のように美しい一画です。美しい山々、青々とした草原の谷、清水の河川、そして自然の鉱物温泉がウクライナ全土またヨーロッパの近隣諸国からの観光客を魅了しています。

改革運動がここで開始したのは 1940 年代でした。この地方の様々な場所で、改革者たちは言葉や生活によって第三天使のメッセージの光を証したのです。そのような働きが共産主義時代に行われていました。1990 年代にコロンミヤの信徒たちは、ある兄弟のアパートで安息日の集会を行うようになりました。彼は改革のメッセージを受け入れて神のみ働きのために喜んでそれを捧げたのです。他のいくつかの都市や村で、福音や医事伝道のプログラムが公に組織されました。数年が経ち、コロンミヤの小さな信徒のグループはリバイバルを求めて熱心に祈り、その祈りに答えを得ました。新しい訪問客が集会に出席し、数年前に二つの若い家族が子供たちと一緒にこの町のわたしたちの教会に連なりました。集会は尚、一部屋のアパートで行われています。

今、兄弟たちは礼拝や他の集会のための礼拝堂を求めて祈っています。この信徒たちは近くの町や村に定期的にトラクトをまき、文書伝道の働きを行っています。主のぶどう畑の働き人として、彼らは喜びと熱心さに満ち、このみ事業のために犠牲を払う用意ができていますが、充分ではありません。そこで世界中の皆さんにわたしたちを援助してくださるようお願いいたします。主が皆さんの心に働いてくださり、このプロジェクトのために惜しみなく捧げてくださるよう、そしてこの場所にわたしたちが生ける神のための記念碑を持つことができるようにというのがわたしたちの祈りであり希望です。皆さんの祈りと支援に感謝すると共に、ここコロンミヤでの働きを覚えてくださるようお願いいたします。

コロンミヤから皆さんの兄弟姉妹より

各時代を通じての神の教会

「主はこう仰せられる、……わたしの声を聞き、あなたがたに命じるすべてのこと〔に従ってこの契約の言葉〕を行うならば、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」(エレミヤ 11:3, 4)

「キリストはいつの時代も教会をもっておられる。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホト・コメント] 6巻 1079)

推奨文献：教会への証 3巻 428-433

日曜日

3月27日

1. 神の教会—忠実な者

- a. 神はいつの時代も何を持っておられますか。また彼らを何と呼ばれますか (使徒行伝 2:47; エレミヤ 7:23; ローマ 9:26)。何がわたしたちの神への愛の証拠ですか (ヨハネ 14:15)。

「キリストはいつの時代にも教会を持っておられる。神の戒めへの従順が、わたしたちにこの教会の特権に対して権利を与える。……もしわたしたちが神のもうけられた条件に従うならば、救いに対するわたしたちの選びは確実である。このお方の戒めへの完全な従順こそ、わたしたちが神を愛している証拠である。」(ビュー・アード・ハルド 1900年7月17日)

「世のはじめから忠実な人々がこの地上に教会を構成してきた。いつの時代にも主は見張りびとをお持ちになっていた。彼らは、彼らが生きた世代に忠実なあかしを立ててきたのである。」(患難から栄光へ上巻 3)

- b. 地上の教会は不完全に見えても、神はそれをどのようにご覧になりますか (出エジプト記 19:5; ペテロ第一 2:9)。

「教会はどんなに弱く欠陥だらけのように見えても、神が特別な意味で最高の関心を払われる対象である。教会は神の恵みの舞台であり、そこで神は人々の心を変える力をあらわすことを、およろこびになるのである。」(同上 4)

2. 洪水前の神の教会

- a. アダムの子孫の間で、真の神の礼拝を保っていたのは、だれですか（創世記 4:25, 26）。

「神の約束の相続者、霊的長子権の継承者として、アダムにもうひとりのむすこが与えられた。このむすこにつけられたセツという名は、『定められた者』とか『償い』とかいう意味をもっていた。母親は、『カインがアベルを殺したので、神はアベルの代りに、ひとりの子をわたしに授けられました』と言った（創世記 4:25）。セツは、カインやアベルよりは、はるかに背が高く、気品を備え、他のむすこたちよりアダムによく似ていた。彼はりっぱな人物で、アベルの足跡に従った。しかし、彼は、生来の美点をカインよりも多く受け継いだのではなかった。……アダムは、神のかたちにかたどり、罪のないものに創造されたが、カインと同様に、セツも両親の墮落した性質を受け継いだ。しかし彼は、贖い主に関する知識と、義の教訓をも受けた。彼は、神の恵みによって、神に仕え、神を尊んだ。彼は罪深い人々が悔い改めて創造主をあがめ、服従するようになるために努力した。これは、アベルも生きていたなら、したと思われることであった。……

それまでも忠実な人々は神を礼拝していた。しかし、人間が増加するに従って、二つの種類の人々の差はますます明らかになった。一方は神への忠誠を公に告白していたが、他方は軽べつと不服従をあらわした。」（人類のあけぼの上巻 75, 76）

- b. アベルの模範に従って、セツの子孫ほどの希望を抱いていましたか（ヘブル 11:13, 16）。神の子らの信仰を保つために、しばしば何が必要ですか（コリント第二 6:17, 18）。

「アベルは羊飼いの生活を送って、天幕や仮り住まいに住んでいた。そして、セツの子孫も、自分たちを、『地上では旅人であり寄留者』であるとみなして、『もっと良い、天にあるふるさと』を求めながら、同じ道を歩んだ（ヘブル 11:13, 16）。

しばらくの間、この二種類の人々は離れていた。カインの子孫は最初住みついた所から広がって行って、セツの子孫が住んでいた平原や谷間にまでちらばってきた。そして、後者は、彼らの悪影響を避けて山にのがれ、そこに住んだ。こうして離れているかぎり、彼らは神の礼拝の純粋性を保っていた。」（同上 77）

3. 洪水後の神の教会

- a. ノアの三人のむすこの中で、真の神の礼拝を維持したのはだれですか（創世記 9:18-27）。再び偶像礼拝が広まり始めた後、真の宗教の原則を守るためにセムの家系の中で、だれが召されましたか（創世記 12:1-3）。

「バベルからの離散後、偶像礼拝は、また、全世界に広くゆきわたり、主は、ついにかたくなな罪人たちが悪を行なうのを放任しておかれる一方、セムの系統のアブラハムを召して、後の時代の人々のために、神の律法を継承する者とされた。アブラハムは、迷信と異教のなかで成長したのであった。神の知識を保っていた彼の父の家族でさえ、回りの魅力的感化に負けて、主より『ほかの神々に仕えて』いた。しかし、真の信仰が絶えてしまったわけではなかった。アダム、セツ、エノク、メトセラ、ノア、セムなどが次々に立ち上がり、神のみこころの尊い啓示を代々保ったのであった。テラの子が、この神聖な信任にあずかる者になったのである。偶像礼拝は、あらゆる面から彼を誘惑したが、彼は負けなかった。アブラハムは、信仰のない人々のなかで、信仰あつく、神にそむいた人々のなかで汚されず、ただひとり、真の神の礼拝を堅く守り続けた。『すべて主を呼ぶ者、誠をもって主を呼ぶ者に主は近いのです』（詩篇 145:18）。神は、ご自身のみこころをアブラハムに伝え、律法の要求や、キリストを通してなしとげられる救いについての明確な知識を彼にお与えになった。」（人類のあけぼの上巻 121）

- b. 何世紀もの間、イエス・キリストの来臨まで、アブラハムの家系からどの国家が神の教会となりましたか（出エジプト記 3:10; 申命記 7:6-8; 14:2; 使徒行伝 7:38）。

「神はご自身の品性を人々に現すために、イスラエルの民をお選びになった。神はその民がこの世の救いの井戸となるようにお望みになった。彼らには天来のことば、神のみこころの啓示がゆだねられた。イスラエルの初期の時代に、この世の国々は墮落した習慣によって、神についての知識を失った。……それでも神は、憐れみから彼らの存在を抹殺されなかった。神は選ばれた人々を通して彼らが再び神を知るようになる機会を与えようとなさった。」（患難から栄光へ上巻 5, 6）

4. 新約における神の教会

- a. ユダヤ教会の背信とキリストの拒否のゆえに、神は彼らに対してどのような裁きを下されましたか（マタイ 21:42-45; 23:37, 38）。

「イスラエルは、不信と、イスラエルに対する神のみこころの拒否とによって、国家として神との関係が断たれてしまった。」（患難から栄光へ下巻 61）

「しかしイスラエルは、国家として、神から離れた。オリーブの木の自然の枝は折りとられた。宮の内部を見おさめにして、イエスは悲しい調子で言われた、『見よ、おまえたちの家は見捨てられてしまう』（マタイ 23:38, 39）。……これまで主は宮を父の家と呼ばれた。しかしいま神のみ子が宮から離れられるとともに、神のご臨在は、み栄えのために建てられたこの宮から永久に離れるのであった。」（各時代の希望下巻 78）

- b. ユダヤ教会の拒否から、わたしたちはどのような重要な真理を学ぶことができますか（歴代志下 15:2; エレミヤ 18:7-10）。

「神のみ言葉の中には、無条件の選び—一度恵みに入れば、ずっと恵みのうちにいる—というようなものはない。」（信仰によってわたしは生きる 157）

「神の約束はみな条件に基づいてなされている。」（信仰と行い 47）

「教会が主のみ働きに対して不忠実であることを示すなら、彼らの立場が何であろうと、彼らの召しがどれほど高く神聖なものであろうと、主はもはや彼らと共に働くことはおできにならない。そのとき他の者たちが重要な責任を負うために選ばれるのである。」（上を仰いで 131）

- c. ユダヤ教会の代わりに、どの教会が起こされましたか（ペテロ第一 2:5-10; ローマ 11:20-22; 使徒行伝 11:26）。

「ユダヤ人は民族として神のみ旨をはたすことができなかつた。そしてぶどう園は彼らから取り去られた。彼らが乱用した特権、彼らが軽んじた務めは他の者たちにゆだねられた。」（キリストの実物教訓 275）

5. 異教が教会を墮落させた

- a. 使徒たちの死後、キリスト教会だと公言する者たちは、どのような悲しい出来事を経験しましたか（テサロニケ第二 2:3-8）。

「この異教とキリスト教の妥協が、神に反抗して立ち上がると預言された『不法の者』を出現させることになった。偽りの宗教のあの巨大な組織は、サタンの権力が生んだ一大傑作であって、自分の意のままにこの地上を支配しようとする彼の努力の記念碑である。」（各時代の争闘上巻 44）

- b. サタンはどのように教会を墮落させるのに成功しましたか（ヤコブ 4:4; ヨハネ第一 2:15; アモス 3:3）。

「大いなる敵、悪魔は、暴力でできなかったことを、今や策略によって得ようと努めた。迫害はやんだ。そして、その代わりに、この世の繁栄と世俗の栄誉という危険な誘惑物がおかれた。偶像教徒は、他の重要な真理を拒否しながらも、キリスト教の信仰の一部を受け入れるように導かれた。彼らは、イエスを神の子として受け入れ、……罪の自覚もなく、悔い改めや心の変化の必要をも感じなかった。……

ついに、キリスト者の多くは、標準を下げることに同意し、キリスト教と異教との間の結合が成立した。……不健全な教義、迷信的礼典や偶像礼拝的儀式が、教会の信条と礼拝の中に取り入れられた。キリスト者たちが偶像礼拝者たちと結合したことによって、キリスト教は腐敗し、教会はその純潔と力を失った。」（同上 35, 36）

個人的な復習問題

1. 聖書の見地から、地上の神の教会を構成しているのは何ですか。
2. セツとカインは二人とも罪深い性質をもっていたにもかかわらず、セツを違ったものにしたものは何でしたか。
3. アブラハムの信仰は彼の周りにいる人々にとって、どのように祝福でしたか。
4. 神の組織された教会は、どのようにこのお方とのつながりを失う危険がありますか。
5. 教会は背信と墮落を、どのように避けることができたはずですか。

終わりの時代における神の教会

「龍は、女に対して怒りを発し、女の残りの子ら、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかしを持っている者たちに対して、戦いをいどむために、出て行った。」(黙示録 12:17)

「世において神の律法がほとんど全世界的に無効にされても、神のご要求に従順な義人の残りの民がいるであろう。」(サインズ・オブ・タイムズ 1889年4月22日)

推奨文献：教会への証 45-62

日曜日

4月3日

1. 改革の教会

- a. 神はキリスト教徒異教の結合をどのようにご覧になりますか (出エジプト記 20:4, 5; エゼキエル 23:37)。

「人と神との密接で聖なる関係が、結婚の象徴によってあらわされている。偶像礼拝は靈的姦淫であるから、これに対する神の不快がねたみと呼ばれていることはふさわしい。」(人類のあけぼの上巻 356)

- b. 背信の教会の指導部が悔い改めなかったとき (黙示録 2:21)、忠実な教会員はどの原則に従いましたか (コリント第二 6:17; ルカ 6:22)。

「宗教改革者たちが神のみことばを説いたとき、彼らは、国教会から分離する考えはなかった。しかし宗教界の指導者たちが、光に対して寛容な態度を示そうとしなかったため、光を持った人たちは、真理にあこがれている他の階級の人たちをさがさねばならなかった。」(各時代の希望上巻 285)

「長期にわたった激しい戦いの後、忠実なわずかの者たちは、教会が虚偽と偶像礼拝とを捨てることをなお拒否するならば、背信した教会との一致をすべて絶つ決心をした。彼らは、神のみ言葉に従おうとするならば、分離することが絶対に必要なことを認めた。」(各時代の争闘上巻 39)

2. 改革の教会(続)

- a. 背教の教会は、自分たちの墮落した習慣を支持することを拒んだ改革者たちを、どのように扱いましたか(黙示録 12:13, 15)。この取り扱いはどれくらいの間続きましたか(6, 14 節)。

「第六世紀に至って、法王権は確立した。その権力の座はローマに置かれ、ローマの司教が全教会の首長であると宣言された。異教は法王権に地位を譲った。龍は獣に、『自分の力と位と大いなる権威とを』与えた(黙示録 13:2。付録参照)。こうして、ダニエル書と黙示録に預言されたところの、1260 年間に及ぶ法王権の迫害が始まった(ダニエル書 7:25、黙示録 13:5-7 参照)。キリスト者たちは、神に対する忠誠を放棄して法王教の儀式と礼拝を受け入れるか、それとも、地下の牢獄に幽閉され、拷問や火刑、また斬首吏のおで生命を失うか、そのどちらかを選ばねばならなくなった。『しかし、あなたがたは両親、兄弟、親族、友人にさえ裏切られるであろう。また、あなたがたの中で殺されるものもあろう。また、わたしの名のゆえにすべての人に憎まれるであろう』というイエスの言葉が、ここで成就した(ルカ 21:16, 17)。迫害は、これまで以上に激しく忠実な人々に向けられ、世界は一大戦場となった。何百年の間、キリストの教会は人里離れた場所に難をのがれた。」(各時代の斗争闘上巻 49, 50)

- b. 暗黒時代のこれらの迫害を、神の真の教会はどのように生き延びましたか(黙示録 12:16)。そのような試練は信徒たちにどのような効果を及ぼしましたか(ローマ 5:3, 4)。

「カトリック教徒は、プロテスタントを異端視しつづけ、真の教会から故意に分離したものであると言ってきた。しかしこうした非難は、むしろ彼らにこそ当てはまるのである。キリストの旗を捨てて、『聖徒たちによって、ひとたび伝えられた信仰』から離れたのは、彼らであった(ユダ 3)。」(同上 45)

「暗黒と背教の全時代を通じて、ローマの至上権を否定し、聖画像崇敬を偶像礼拝だとして拒み、真の安息日を守ったワルド派の人々がいた。最も激しい弾圧のさなかで、彼らはその信仰を保った。……

そびえ立つ山々のかげに—それはいつの時代においても、迫害され圧迫された人々の避難所であったが—ワルド派は隠れ場を見いだした。そしてここで真理の光が、中世の暗黒のただ中であって燃え続けた。ここで、千年以上もの間、真理の証人たちは昔ながらの信仰を保持したのであった。」(同上 65, 66)

3. 改革の教会がバビロンとなる

- a. イエスは改革の教会の迫害の時代に何が起こったと言われましたか。それはなぜですか (マタイ 24:21, 22)。

「教会の迫害は、1260年の全期間を通じて続いたわけではなかった。神は、神の民をあわれんで、火のような試練の期間を短縮された。……迫害は、宗教改革の影響を受けて、1798年より前に終わったのである。」(各時代の争闘上巻 341)

- b. 暗黒時代が終わった後、どの預言が成就され始めましたか。また天におけるどの出来事が、福音の宣布と関連して告知されましたか (黙示録 14:6, 7)。

「キリストの再臨が間近いという宣言のもとに、宗教的大覚醒運動が起こることが、黙示録 14章の第一天使のメッセージの預言の中に予告されている。『もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者……に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、大声で言った、「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」(6, 7節)。』(各時代の争闘下巻 49, 50)

- c. 改革の教会は第一天使のメッセージにどのように反応しましたか。またこのことは神の御前におけるその立場にどのような影響を及ぼしましたか (黙示録 14:8)。

「諸教会が再臨のメッセージを拒むことによって神の勧告をはねつけたとき、主は彼らを拒まれた。第一天使のあとに第二天使が『倒れた、大いなるバビロンは倒れた。その不品行に対する激しい怒りのぶどう酒を、あらゆる国民に飲ませた者』と宣布しながら続いた (黙示録 14:8)。このメッセージは第一のメッセージを拒絶した結果、諸教会が道徳的に墮落したことの告知として理解された。この『バビロンは倒れた』との宣言は 1844年に与えられ、その結果、およそ5万人の人々がこれらの諸教会から身を引いた。」(預言の霊 4巻 232)

4. 残りの教会

- a. プロテスタント諸教会の墮落の後、回復の特別な働きを実行するために、神はどの教会を起こされましたか（イザヤ 58:8-14）。

「〔イザヤ 61:4;58:12 引用〕。広く一般が真理と正義から離反しているときに、神の国の基礎である原則を回復しようとする人々のことを、預言者はここで描写しているのである。彼らは神の律法の破れを回復する人々である。すなわち神の律法は、神が選民を保護するために、彼らの周りに置かれた城壁であって、その正義、真理、純潔である戒めに従うことが、彼らを永久に保護するのである。」（国と指導者下巻 277）

「〔イザヤ 58:12 引用〕。預言者はここで第四条の安息日が守られなくなったことによって神の律法に生じた破れに言及している。このおきては不法の者によって荒れすたれたものとされた。そしてキリスト教だと公言する世界は、彼が、主に聖化された安息日と取り替えた日を受け入れたのであった。わたしたちは神の律法に生じた破れを繕う者のうちに数えられるであろうか。あるいは神聖な制度よりも人間の制度を守り、それによって法王の子を助長することによって、獣の刻印を受けるものとして数えられるのであろうか。」（サイン・オブ・タイムズ 1878年2月28日）

- b. 黙示録の書にあるどの預言が、イザヤ 58:8-14 の預言と類似していますか（黙示録 14:9-12）。

「神はいにしへのイスラエルを召されたように、今日地において光として立つようにご自分の教会を召してこられた。真理の力強い手斧、すなわち第一、第二、第三の御使のメッセージによって、このお方は彼らを諸教会から、また世から分離させ、ご自身との聖なる近さへと導き入れられた。このお方は彼らをご自分の律法の保管者とし、彼らにこの時代のための預言という偉大な真理を委ねられた。いにしへのイスラエルに委ねられた聖なる託宣のように、世に伝えられなければならない聖なる委託物がある。黙示録 14 章の三人の御使たちは神のメッセージの光を受け入れて、このお方の代理人として出て行く人々を象徴している。……なにもものもこの働きを妨げることをゆるしてはならない。これは今のために非常に重要な働きであり、永遠にまで及ぶ遠大なものとなるべきである。イエスが人類の贖いのために払われた犠牲のうちに表された人の魂への愛が、このお方に従うすべての者を動かすのである。」（教会への証 5 巻 455, 456）

5. 残りの教会のしるしを見分ける

- a. 預言された回復の働きを成就し、三天使のメッセージを宣布している人々を、聖書は何と呼んでいますか（黙示録 12:17（中句））。

「終末時代に、すべての聖なる制度が回復されなければならない。人間が安息日を変更したときにできた、律法の破れが回復される。神の残りの民は改革者として世の前に立ち、神の律法がすべての永続的改革の基礎であって、第四条の安息日は創造の記念であり、常に神の力を思い起こさせるものであることを、示さなければならない彼らは明白な言葉で、十誡のすべての戒めに服従する必要性を示さなければならない。彼らはキリストの愛に動かされて、キリストと共に力を合わせて、荒れすたれた所を復興しなければならない。彼らは、破れを繕う者、市街を繕って住むべき所となす者、とならなければならないのである。」（国と指導者下巻 277, 278）

- b. この終わりの時代に、神の残りの民を区別する最も重要な二つのしるしとは何ですか（黙示録 12:17（下句））。

「〔黙示録 12:17 引用〕。この預言ははっきりと残りの教会が神の戒めのうちに神を認め、預言の賜物を持つことを指し示している。神の戒めへの従順と預言の霊がいつも真の神の民を区別してきた。そして通常、現代の表明にテストが与えられるのである。」（ローマ・リンダ・メッセージ 33）

個人的な復習問題

1. クリスマンとしてできえ、どのように霊的な姦淫の罪を犯す可能性がありますか。
2. 神の組織された教会から分離することはいつ誤っており、いつ正しいのですか。
3. 暗黒時代の間、だれが真の教会から分離しましたか。あなたの答えを説明しなさい。
4. 神の律法の破れを繕う者となるとは、何を意味するかを説明しなさい。
5. この終わりの時代の残りの民を区別するしるしをいくつかあげなさい。

ご自分の教会のための神のご目的

「奥義にあずかる務がどんなものであるかを、明らかに示すためである。それは今、天上にあるもろもろの支配や権威が、教会をとおして、神の多種多様な知恵を知るに至るためであって、わたしたちの主キリスト・イエスにあって実現された神の永遠の目的にそうものである。」(エペソ 3:9-11)

「教会はキリストの恵みに富んだ宝庫であり、教会を通して神の愛がついに……十分明らかに示されるのである(エペソ 3:10)。」(患難から栄光へ上巻 1)

推奨文献：患難から栄光へ上巻 1～8

日曜日

4月10日

1. 神のみかたちに創造された

a. 神は人類の創造に関して何と言われましたか。またそれをだれに言われましたか(創世記 1:26, 27)。

「地が創造され、地上に獣がいるようになって後、御父と御子をご自分たちのご目的を実行された。それはサタンの墮落以前から計画されたもので、人をご自分のかたちに創造されることであった。御父と御子は地と地上に生きるすべてのものの創造において共に働いてこられたのであった。そして今、神はご自分の御子に言われた、『われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造』ろう(創世記 1:26)。」(彼を掲げよ 47)

b. 神のみかたちに創造するとはどういう意味ですか(伝道の書 7:29)。

「神は、人間を正しいものに造られた。神は、人間に悪の傾向のない気高い品性をお与えになった。神は、彼に高い知的能力を……お与えになった。」(人類のあけぼの上巻 25)

「[人]の愛情は清く、食欲や情欲は理性の支配のもとにあった。」(同上 20)

2. 神の栄光

a. 神は何のご目的のために人類を創造されましたか (イザヤ 43:7)。

「他のすべての低い種類の存在にまさって、神は人、すなわちご自分の創造の傑作が、ご自分の思想を表現し、ご自分の栄光を表すようにと計画された。しかし、人は神として自らを高めてはならなかった。」(教会への証 8 巻 264)

「アダムが創造主のみ手によってつくられたとき、彼の肉体と知能と霊性は、神のみかたちをそなえていた。『神は自分のかたちに人を創造された』(創世記 1:27) としるされている。神の御目的は、人が長く生きれば生きるほど、ますます、はつきりと神のみかたちをあらわすこと、すなわちなおいつそう明らかに創造主の栄光を反映することであった。」(教育 4)

b. 靈感は神の栄光をどのように定義していますか (出エジプト記 33:18, 19; 34:5-7)。

「神の栄光はこのお方のご品性である。モーセが山にいて、熱心に神にとりなしたとき、彼は『どうぞ、あなたの栄光をわたしにお示してください』と祈った。その答えとして神は『わたしはわたしのもろもろの善をあなたの前に通らせ、主の名をあなたの前にのべるであろう。わたしは恵もうとする者を恵み、あわれもうとする者をあわれむ』と宣言された (出エジプト記 33:18, 19)。

「神の栄光—そのご品性—はそのとき表された。[出エジプト記 34:6, 7 引用]。」(ザインズ・オブ・タイムズ 1902 年 9 月 3 日)

c. わたしたちの品性を形成するものはなんですか (イザヤ 55:7-9; 伝道の書 8:5; コリント第二 10:5)。

「もし思想が誤っていれば、感情も誤っている。そして思想と感情が結合して道徳的な品性を作り上げているのである。あなたがたがクリスチャンとして自分の思想と感情を抑制することが要求されてはいないと決め込むならば、あなたは悪天使たちの影響下におかれ、彼らの存在と彼らの支配を招くのである。」(教会への証 5 巻 310)

「思想が行動を起こすことを忘れてはならない。繰り返される行動が習慣を形成し、習慣が品性を形成するのである。」(上を仰いで 89)

3. 妨害された神のご目的

- a. どの点において、へびは最初の両親を誘惑し、彼らを罪の支配下に導きましたか（創世記 3:3-6）。

「人が直面しなければならない最も強力な誘惑の一つが食欲の点においてである。……

最初に食欲に屈服して以来、人類はますます自己放縱が増していき、ついに健康が食欲という祭壇に犠牲にされるに至った。洪水前の住民は飲食に無節制であった。当時神が人に動物の肉を食することを許しておられなかったにもかかわらず、彼らは肉食をしていた。彼らは自分たちの墮落した食欲の放縱の際限がなくなるまで、そしてあまりにも墮落したために神がもはや彼らに耐えることがおできなくなるまで食い飲みした。彼らの悪の杯は満ち、このお方は洪水によって地をその道徳的な汚れから清められた。」（健康についての勧告 108, 109）

- b. サタンは人間に罪を犯させるのに、どのように成功しましたか（創世記 6:5; ローマ 3:10-12, 18）。彼の目的は何でしたか。

「神と人とを永遠にひき離すことがサタンの目的であった。」（各時代の希望上巻 11）

「初め、人はすぐれた能力と調和の取れた精神を与えられていた。かれはまた人として完全で神と調和し、思想も純潔で、きよい目的をもっていた。けれども、神に背いたためその能力は悪に向けられ、愛は利己心とかわってしまった。罪のため人の性質はすっかり弱められて、自分の力では悪の勢力と戦うことができなくなった。こうして悪魔のとりことなったため、もし、神が特別に救ってくださらなかったならば、いつまでもそのままの状態でいたことであろう。悪魔は、人類を創造された神のご計画を妨害し、この世を悲しみと破壊で満たそうと思った。そして、こうした災いはみな神が人類を創造された結果であると言おうとしたのである。」（キリストへの道 13）

「罪のために、神のみかたちは傷つけられ、ほとんど消えてなくなるばかりとなった。人の体力は弱くなり、知的な能力は低下し、霊的な眼はくもった。人間は死ななければならない身となった。」（教育 4, 5）

4. 失われたみかたちを回復する

- a. サタンが人類における神のみかたちを滅ぼすのに成功した後、どの計画が実施されましたか（創世記 3:15）。

「サタンが人類に罪を犯させたので、あがないの計画が実施された。四千年の間、キリストは人類を高めるために働かれたが、サタンは人類を墮落させ、滅ぼすために働いていた。」（各時代の希望下巻 283,284）

「〔創世記 3:15 引用〕。ここにサタンの力と戦うための戦場に立ち、彼に対して打ち勝つことになる救い主の最初の約束があった。」（*セクテッド・メッセージ* 2 巻 106）

- b. 贖いの計画を通して、神は何を成し遂げようと計画されましたか（ローマ 8:29; コリント第二 3:18）。

「人類は、望みのない状態のままに捨ててはおかれなかった。限りない愛とあわれみによって、救いの計画がたてられ、生命の猶予があたえられたのである。人類を創造された神の御目的が実現されるように、人の中に創造主のみかたちを回復し、人を創造当初の完全な姿にもどし、知、徳、体の 発達を促すこと、これが救済の働きとなるべきであった。これが教育の目的であり、人生の大目的である。」（教育 5）

- c. 神格のお三方のうち、どのお方が、人類のなかに神のみかたちを回復するために、わたしたちの世に来てくださいましたか（ヨハネ 1:18; ルカ 19:10）。

「サタンは人類の中の神のみかたちを低下させることに成功し狂喜していた。そのとき、イエスは人のうちにその造り主のみかたちを回復するために来られた。キリストのほかにはだれも、罪によって損なわれてきた品性を新たに形づくることはできない。このお方は意志を支配してきた悪霊たちを追い出すために来られた。このお方はわたしたちをちりから引き起こし、損なわれた品性をご自分の神聖なご品性の型に従って新たにかたちづくるために、そしてそれをご自身の栄光で麗しくするために来られたのである。」（神の驚くべき恵み 11）

「アダムの罪によって、神の道徳的なみかたちはほとんど消えてしまったが、イエスの功績とみ力を通して、それは新たにされることができる。人は自分の品性のうちに道徳的な神のみかたちをもって立つことができる。なぜなら、イエスがそれを人に与えて下さるからである。」（同上 246）

5. 神のご品性の最後の表示

a. 何がお自分の教会のための神の最高のご目的ですか (エペソ 3:8-11)。

「教会を通して神の満ちあふれる豊かさを世界に反映させることが、神のはじめからのご計画であった。……教会員たちは、神の栄光をあらわさなければならない。」(患難から栄光へ上巻 1)

b. 神の満ちみちた徳とのみかたちを世に反映するために、神の教会の状態はどのようなものでなければなりませんか (エペソ 5:27; ヨハネ 13:34, 35)。この状態に達するとすぐに、何が起こりますか (マルコ 4:29)。

「今、われわれの大祭司がわれわれのために贖いをしておられる間に、われわれは、キリストにあつて完全になることを求めなければならない。救い主は、その思いにおいてさえ、誘惑の力に屈服されなかった。サタンは、人々の心の中に、なんらかの足場を見つける。心の中に罪の欲望があると、サタンはそれを用いて誘惑の力を表わす。しかし、キリストはご自身について、『この世の君が来る……。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない』と宣言された (ヨハネ 14:30)。……これが、悩みの時を耐えぬく人々のうちになければならない状態なのである。」(各時代の大打闘下巻 397)

「キリストは、ご自分の教会の中に、ご自身をあらわそうと熱望しておられる。キリストの品性が完全にキリストの民の中に再現されたときに、彼らをご自分のところに迎えるために、主はこられるのである。」(キリストの実物教訓 47)

個人的な復習問題

1. 父なる神がおひとりで万物を創造されましたか。説明しなさい。
2. 創造の時のアダムの性質はどのようなものでしたか。そして彼は何を形成することができましたか。
3. サタンは人類を創造された神のご目的をどのように妨害しましたか。
4. 贖いの計画の主たる目的は何ですか。
5. イエスがまだ戻ってこれない理由として、あなたは何を理解していますか。

教会の使命

「そして〔イエスは〕彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。」(マルコ 16:15)

「教会は人類救済のために神がお定めになった機関である。教会は奉仕するために組織された。その使命は世界に福音を伝えることである。」(患難から栄光へ上巻 1)

推奨文献：クリスチャンの奉仕 7-29

日曜日

4月17日

1. 教会の使命

- a. 教会には、成し遂げるために徹底した組織を要求するどのような壮大な使命が与えられていますか(マタイ 28:18-20)。

「キリストの教会の使命は、滅びつつある罪人たちを救うことである。それは神の愛を人々に知らせ、その愛の効力によって彼らをキリストに勝ち取らなければならない。この時代のための真理が地の暗い隅々にまで伝えられなければならない。そしてこの働きは家庭で始めることができる。」(教会への証 3巻 381)

- b. 新約のご自分の教会を組織するにあたり、キリストは最初にどのような手順を踏まれましたか(マルコ 3:13, 14)。福音の促進のために、教会組織に関して使徒たちにより、さらにどのような手順が踏まれましたか(使徒行伝 6:1-6)。

「十二弟子の任命によって、キリストが去ってのち地上でみわざを続ける教会を組織するための第一歩が踏み出された。……

これらの弱い代理者たちをお用いになり、ご自身のことばとみ霊によって〔天の大能者〕キリストはすべての者に、もれなく救いを得させようと計画しておられるのである。」(患難から栄光へ上巻 10, 11)

2. 任務にはすべての信徒が含まれている

- a. どの二つの機会に、福音の任務が与えられましたか（マルコ 16:14, 15; マタイ 28:16-20; コリント第一 15:6）。この行為からわたしたちはどの教訓を学ぶことができますか。

「この任命は、キリストが十二人の弟子たちと二階の広間で会合されたときに与えられたのであったが、いまはもっと多数の者に与えられることになった。ガリラヤの山での集まりに、呼び集められるかぎりすべての信者が集められた。この集まりについては、キリストご自身が、なくなられる前に、時と場所を指定しておかれた。……

復活後イエスが多くの信者たちと会見されたのはこの時だけであった。イエスは彼らのところへおいでになって語り、『わたしは天においても地においても、いっさいの権威を授けられた』と言われた（マタイ 28:18）。……

無限の権威を帯びて、キリストは、弟子たちに任命をお与えになった。『それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として……教えよ』（マタイ 28:19）。」（各時代の希望下巻 361～364）

「救い主が弟子たちにお与えになった任務には信者の全部が含まれていた。これには世の終わりにいたるまですべてのキリスト信者が含まれている。救霊の働きが牧師だけに負わされていると考えるのは重大な誤りである。……キリストの生命を受ける者はみな同胞の救いのために働くように任命される。教会はこの働きのために設立されているのであって、聖なる誓約によって教会に加わるものはみなそのことによってキリストと共に働く者となることを誓ったのである。」（同上 368）

- b. キリストはどこから彼らの宣教の働きを始めるよう指示されましたか（ルカ 24:47）。これは今日どのようにわたしたちに当てはまると思いますか。

「弟子たちは自分たちのいるところから働きを始めるのであった。最も困難で、最も見込みのない働き場をみずごしてはならなかった。同じように、キリストの働き人のひとりびとりは、自分のいるところから働きを始めるのである。われわれ自身の家族の中には、同情にかわき、生命のパンに飢えた魂がいるかもしれない。キリストのために教育すべき子供たちがいるかもしれない。われわれ自身の門口に異邦人がいる。一番近くにある働きを忠実にしよう。それから、われわれの努力を神のみ手がみちびかれるままに遠くへひろげよう。多くの人々の働きは環境に制限されているようにみえるかもしれない。しかしどこであらうと忠実に、勤勉に働くならば、それは地の隅々にまで知られるのである。」（同上 369）

3. あらゆる階級の人々に手を差し伸べる

- a. 神は人を偏り見ないお方であることが、どのようにわかりますか（ローマ 2:11; マタイ 5:45; ヨハネ第一 2:2）。

「キリストは、国や階級や信条の相違をお認めにならなかった。学者やパリサイ人は、天の賜物を一国民に限られた特権とし、世界の各地にいる神の他の家族を除外しようとした。しかしキリストは、いっさいの隔ての壁をこわすためにおいでになった。彼は、神の憐みと愛の賜物が、空気や光や、また地を爽快にする雨のように、制限されるべきでないことを示すためにおいでになったのである。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 8, 9）

- b. イエスはどのように規則と模範によって、福音が低い階級、貧者、病人、また社会ののけ者に宣布されるべきことをわたしたちにお教えになりましたか（ヨハネ 4:5-9; マタイ 9:10-13; 10:7, 8）。

「その同情と親切なまじわりは、〔キリスト〕が人間の真価を認めておられることを示したので、彼は取税人の食卓に名誉の客としてお招かれになった。そして人々は自分たちも信頼に足る者になりたいと思った。……

彼はユダヤ人だったが、サマリア人と自由にまじわり、ユダヤ国のパリサイ的な習慣を無視なさった。彼はパリサイ人の偏見をおそれず、この軽蔑された人種からもてなしをお受けになった。サマリアの屋根の下で共に眠り、その手で作られ、出された食物を共に召しあがった。また彼らの町で教え、できるかぎり親切にいてねいに彼らを扱われた。」（同上 10）

- c. イエスはまた中流や上流階級の人々にも奉仕しておられたことがどのようにわかりますか（ヨハネ 3:1-3; マタイ 8:5-10; ルカ 19:1-5）。

「キリストは貧しい者に福音を宣布されたが、この階級の人々にご自分の働きを限っておられたのではなかった。このお方はご自分のみ言葉を聞くすべての人のために働かれた。すなわち、取税人や社会ののけ者ばかりでなく、裕福で教養のあるパリサイ人、ユダヤ人の貴族、百卒長、そしてローマの役人。これがわたしがかつて見てきたなされるべき種類の働きである。」（伝道 549）

4. イエスの来臨の必須条件

- a. 終わりが来る前に、教会のどの働きがなし遂げられなければなりませんか（マタイ 24:14; 黙示録 14:6, 7）。ここでどのような「終わり」に言及されていますか。また、どのような栄光に満ちたできごとが関連していますか（マタイ 24:3）。

「この預言〔黙示録 14:6,7〕によると、さばきとそれに付随した警告のメッセージのあとに、天の雲にのって人の子が来られることがのべられている。さばきのメッセージの宣布は、キリストの再臨が近いことを知らせている。そしてこの宣布は永遠の福音と呼ばれている。このようにしてキリスト再臨のことを説教して、その切迫を告げることが福音のメッセージの本質的部分であることが示されている。」（キリストの実物教訓 207）

- b. 最後の憐れみのメッセージを世に伝える働きは、だれに与えられましたか（黙示録 3:14）。

「特別な意味において、セブンスデー・アドベンチストは世の中の見張り人また光を担う者として置かれてきた。彼らに滅びつつある世界のための最後の警告が委ねられてきた。彼らの上に神のみ言葉からのすばらしい光が輝いている。彼らは最も厳粛にして重要な働き、すなわち第一、第二、第三天使のメッセージの宣布が与えられてきた。これほどの重要性を持った働きは他にない。彼らは何ものも自分たちの注意を奪うことを許してはならない。」（教会への証 9 巻 19）

- c. 何が今日、この働きを完成へと導く、神の残りの教会の心の切望となるべきですか（詩篇 119:125-127）。

「ここに改革者となる人々、すなわち第三天使のメッセージの旗を担い、自ら神の戒めを守る民であることを公然と認め、神を尊び、熱心に全宇宙の面前で、ひさしく荒れすたれたところを築く働きに携わる人々の特徴が挙げられている。彼らを破れを繕う者、住むべきところへと回復する者と呼ばれるのはだれであろうか。それは神である。彼らの名は天に改革者、回復者、世々の基を興す者として登録されている。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホト・コメント] 4 巻 1151）

5. 働きを完成するために必要とされている仕事

- a. 第一世紀の初代教会によってなし遂げられたことは何でしたか。そして彼らはこの働きをどのようにしてなすことができましたか（ローマ 10:18; コロサイ 1:23; 使徒行伝 1:8）。
- b. 今日 70 億の人口に達する人々のいる世界に伝道しようとするとき、改革者として何を覚えているべきですか（ゼカリヤ 4:6; ルカ 18:27; サムエル上 14:6）。

「人間の力は弱く、人間の知恵は愚かである。わたしたちの成功はわたしたちのタラントや学識によるのではなく、わたしたちの神との生きたつながりによる。」（教会への証 5 巻 158）

- c. 世への福音宣布に成功する前に、教会員はまずどの経験をしなければなりませんか（使徒行伝 3:19, 20）。そうであれば、わたしたちは何を求めて嘆願するべきですか（ゼカリヤ 10:1）。

「福音の大いなる働きは、その開始を示した神の力のあらわれより劣るもので終わることはない。福音の開始にあたって秋の雨（前の雨）となって成就した預言は、その終局において、春の雨（後の雨）となって再び成就するのである。」（各時代の 大争闘下巻 382）

個人的な復習問題

1. キリストによって、地上にあるキリストの組織された教会に、どの任務が与えられましたか。
2. 福音を宣布する任務は、按手を受けた牧師だけに与えられたのですか。
3. 真のセブンスデーアドベンチストたちは、今日どの働きに携わるはずですか。
4. 地上の神のみ働きは、どの力によって成功の内になし遂げられますか。
5. あなたは慰めの時に自らを準備するため、どの重要な働きをしなければなりませんか。

伝道の目的

「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し」(マタイ 28:19)

「町々や諸都市で真理を提示するために労する牧師たちは、真理の理論を受け入れた人々が、その聖化させる力の効果を本当に自覚して、真に神へ改心するまで、満足したり、自分の働きが終わったと感じるべきではない。」(教会への証 4 卷 317)

推奨文献：伝道 15-24

日曜日

4月24日

1. キリストの使命

a. この世に来られたキリストの使命は何でしたか (ルカ 19:10)。

「罪人たち—あらゆる人種と地方の罪人たち—はキリストの使命の特別な対象であった。……みなこのお方にいとしいものである。」(天国で 329)

b. イエスはご自分の使命をなし遂げるために、どのような犠牲を払われましたか (ヘブル 2:9)。

「御使たちは世に対するキリストの使命を畏敬と驚きをもって見た。彼らはこのお方を動かして人の罪のためにご自身を犠牲として捧げさせた愛に驚嘆するのである。」(福音宣伝者 497)

c. キリストの使命のどの部分に、このお方の教会は参加すべきですか (ルカ 4:18)。

「キリストの使命は、病人をいやし、無力な者を励まし、傷心の者を包むことである。この回復の働きが、人類の困窮した苦しむ人々の間で実行されなければならない。」(福祉伝道 71)

2. 宣教の目的

a. それでは、福音とは何ですか（コリント第一 15:1-4）。

「キリストは十字架にかかりながら、福音であられた。今、わたしたちには『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』というメッセージがある（ヨハネ 1:29）。わたしたちの教会員は、自分たちの目を十字架につけられ、よみがえられた救い主、すなわち自分たちの永遠の命の希望が集中しているお方に留め続けないうであらうか。これこそ、わたしたちのメッセージ、わたしたちの論拠、わたしたちの教理、悔い改めない者へのわたしたちの警告、悲しんでいる者へのわたしたちの励まし、すべての信徒のための希望である。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホト・コメント] 6 巻 1113）

「第三天使のメッセージは第四条の安息日の提示を求めている。……しかし、魅力の大中心、イエス・キリストが第三天使のメッセージから取り残されてはならない。」（ビュー・アンド・ヘルド 1894 年 3 月 20 日）

b. 全国民に福音を宣布する真の目的は何ですか（ルカ 1:77; 使徒行伝 2:21）。

「宣教、それ自体には、心を新たにする生来の力はないが、それこそ宣教の目的なのである。魂を悔悟のうちに十字架の下へ導くのは、み言葉に伴う神聖な感化力である。」（同上 1888 年 9 月 4 日）

「福音の第一にして主要な目的、またそれに関連する一切は、失われたものを救うために探すことである。福音の働き……は必要とされているところはどこでも人に助けの手を差し伸べることである。それは罪に病んだ魂と同様に病んで肉体的に苦しんでいる者に奉仕することである。」（同上 1914 年 10 月 29 日）

c. どの約束が福音を信じる人々のものですか。またそれを拒む人々には何が起こりますか（マルコ 16:16; ヨハネ 3:18-20）。

「〔キリスト〕は世のすべての人が改心するとは言われなくて、『この御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣傳えられるであらう。そしてそれから最後が来るのである』と言っておられる（マタイ 24:14）。」（各時代の希望 下巻 101）

3. バプテスマの意義

- a. キリストを信じる人々によって、どの行為がなされるべきですか(マルコ 16:16 (上句)。バプテスマの意義はなんですか (ローマ 6:3-6)。

「バプテスマは本当に神聖で大切な儀式であるから、その意味を完全に理解する必要がある。それは罪の悔い改めと、キリスト・イエスにある新しい命に入ることを意味する。」(家庭の教育 543, 544)

「キリストはバプテスマをご自分の霊的な王国に入るしとされた。このお方は御父、御子、そして聖霊の権威の下に認められることを望む人がみな応じなければならぬ明白な条件とされた。……

バプテスマは最も厳粛な世の放棄である。御父、御子、聖霊の三重の名のうちにバプテスマを受ける人々は、クリスチャン生涯のまきに入り口で、自分たちがサタンの奉仕を捨て、王家のメンバー、すなわち天の王の子となったことを公に宣言するのである。彼らは次の命令に従順に従ってきた、『彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触てはならない。触なければ、わたしはあなたがたを受け入れよう。そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、むすめとなるであろう。全能の主が、こう言われる』(コリント第二 6:17, 18)。(教会への証 6 巻 91)

- b. アンテオケにいたキリストの弟子たちに、何という名がつけられましたか (使徒行伝 11:26)。

「弟子たちがはじめてクリスチャンと呼ばれたのは、アンテオケにおいてであった。彼らの説教や教えや話題の中心がキリストであったので、この名がつけられたのである。彼らは、キリストが公生涯を送っておられたころ、キリストと個人的に交わる恵みを受けた日々の出来事を、繰り返し詳しく語った。彼らは疲れを知らずに、キリストの教えやいやしの奇跡について語った。また、ゲッセマネの園でのキリストの苦悩や、裏切り、裁判や処刑、敵たちから負わされた侮辱や責め苦に耐えられたキリストの忍耐と謙遜、また、彼を迫害した人々のために祈られた神々しいまでのあわれみについて、弟子たちは唇をふるわせ、目にいっぱい涙をためて語った。キリストの復活、昇天、また墮落した人類の仲保者としての天における働きなどは、弟子たちが喜んで力説する話題であった。」(患難から栄光へ上巻 168)

4. 改心した弟子たち

- a. キリストとその弟子たち間の関係を描写するのに、どの人間関係が用いられていますか (コリント第二 11:2; エペソ 5:22-25)。

「聖書では、キリストとキリストの教会との間の神聖で永続的な関係を、結婚の契りで表わしている。主は、厳粛な契約によって、ご自分の民をご自分に結びつけられ、ご自分が彼らの神になることを約束された。そして彼らは、自分たちが神のものとなり、神だけのものになることを誓ったのである。」(各時代の争闘下巻 82)

- b. 聖書はバプテスマを受けたキリストの弟子の生涯をどのように描写していますか。またそれはなぜですか (コリント第二 5:17; ヨハネ第一 5:1, 4)。

「古い性質、血すじと肉の欲から生まれた者は、神の御国を継ぐことができない。古いやり方、先天的な傾向、かつての習慣は放棄しなければならない。なぜなら、恵みは受け継がれないからである。新生とは、新しい動機、新しい嗜好、新しい傾向から成っている。聖霊によって新しい命へ生まれる者は、神性にあずかる者となったのであり、そのすべての習慣や行いにおいて、彼らがキリストとの関係を持っている証拠を示す。クリスチャンだと主張する人が自分の生来の品性と気質の欠点をみなそのまま持っているとき、彼らの立場は世俗の人と何が違うのであろうか。彼らは真理を聖化するもの、精錬するものとして感謝していない。彼らは新たに生まれていないのである。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホフ・コメント] 6 巻 1101)

- c. だれかにバプテスマを進める前に、教会は何を考慮しなければなりませんか (マタイ 3:8)。

「わたしたちがバプテスマにおいて自らに課す誓いには多くのことが含まれている。御父、御子、聖霊の名によって、わたしたちはキリストの死と同じさまで葬られ、キリストの復活と同じさまでよみがえるのである。そしてわたしたちは新しい命を生きているのである。……それ以降、信徒は自分が、神に、キリストに、そして聖霊に捧げられていることを心に留めていなければならない。彼はすべての世俗的な検討事項をこの新しい関係の次としなければならない。」(教会への証 6 巻 98)

5. 質 対 量

- a. イエスはご自分の弟子となる願いを持つすべての人をどこへ連れて行かれますか。またそれはなぜですか (ヨハネ 10:16; 使徒行伝 2:41, 47)。

「望む者はだれでも、神とやわらぎ、永遠の生命を受ける。弟子たちよ、あなたがたにわたしはこのあわれみのメッセージをゆだねる。それはまずイスラエルに与えられ、次に諸国、諸国語、諸民族に与えられるのである。それはユダヤ人にも異邦人にも与えられるのである。信じる者はすべて一つの教会に集められるのである。」(各時代の希望下巻 367)

- b. キリストの教会に加わることは重要ですが、その一方、更に重要なことは何ですか (ヨハネ 15:4-6; ルカ 13:5-9)。

「牧師たちは、真理の理論を受け入れた人々が、……真に神へ改心するまで、満足す……べきではない。神は彼らの働きの結果として、真に真理に改心した6人を得るほうが、名目的な告白はしたが、まだ徹底的な改心はしていない60人を得るよりも喜ばれるのである。」(教会への証 4巻 317)

「教会とのつながりは改心の代わりとはならない。教会の信条に名を署名することは、もし心が真に変わっていなければ何の価値もない。」(伝道 290, 291)

「わたしたちの心がキリストとその民との結合のうちにないうちは、わたしたちの名が教会の書に記載されることによって、天への肩書きを手に入れることはできない。」(レビュー・アンド・ヘルド 1880年2月19日)

個人的な復習問題

1. キリストが人の子としてこの世に来られたとき、このお方の使命は何でしたか。
2. 伝道の働きをしている際、あなたの目的は何になるべきですか。
3. バプテスマの時に何の誓いがなされますか。
4. 人にバプテスマを施す前に、教会はどの義務を果たさなければなりませんか。
5. 教会員となることが重要であるのと同様に、何がわたしたちの救いにとって絶対的に重要不可欠ですか。

第一安息日献金 世界のミッションのために

世界中の親愛なる兄弟姉妹がたへ
わたしたちは地球の歴史の終末時
代に生存しており、わたしたちの主は
長い間、わたしたちを家へつれて帰り
たいと切望し、待ってられました。
預言的な出来事がわたしたちの眼前
で明らかにされ、イエスの再臨が近い
こと、まさに門口に来ていることを告



げています。残念なことに、福音のメッセージはまだ地の果てにまで届いておらず、すべての被造物が真理を聞く機会を得ていません。「人はまもなく大きな決心を強いられるようになる。であるから、彼らは自分たちの立場を知的に正しい側におくことができるように、聖書の真理を聴いて理解する機会がなければならない」（伝道 25）。

キリストの体の肢体として、このお方のご品性を表し、わたしたちの時間、力、そして資金をこの特別な働きに委ねることによって、全世界を通じて福音を広めることに参加することは、わたしたちの特権です。

わたしたちの教会員や友人たちの祈りと資金的な寄与により、新しいミッションが多くの地方で設立されつつあります。これらの新しいミッションはなお、彼らがしっかりと確立し、自援できるようになるまで、わたしたちの援助を必要としています。またその一方、新しい伝道地が開かれつつあります。毎年、祈祷週の時に、地球の多くの地域へメッセージを広めるのに必要な資金を満たすために特別献金を集めています。しかし、なおもっと多くを必要としています。

「主の嗣業は奇妙なほどになおざりにされており、神はご自分の民をこのことのために裁かれるであろう。誇りと見栄を愛する心が、山積した利益によって満足させられている一方で、新しい伝道地は手をつけられずにいる。神の譴責は管理者たちの不公平とこのお方の資金の利己的な適用の上にある」（教会への証 8 卷 59）。

みなさんは、自分の資金から惜しみなく捧げることによって、伝道者やその家族の努力と自分の努力を一致させ、こうして神の栄光で地が満たされ、イエスがまもなく来られるようになるでしょうか。そう期待します。

世界の必要に代わって、世界総会伝道支部の皆さんの兄弟より

キリストに集中すべきメッセージ

「このイエスこそは『あなたがた家造りに捨てられたが、隅のかしら石となった石』なのである。この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである。」(使徒行伝 4:11, 12)

「聖書を探る時に、思いの前に常に保たれているべき大中心である真理が一つある。キリスト、しかも十字架につけられたキリストである。他のすべての真理はこの主題との関係に相応した感化と力が与えられている。」(SDA バイブル・コメンタリ [E・G・初作・コメト] 6 巻 1084)

推奨文献：伝道 184-193

日曜日

5月1日

1. わたしたちのメッセージの中心主題

- a. 先に学んだように、わたしたちがセブンスデー・アドベンチストの改革者として世に伝えているべき特別なメッセージは何ですか (黙示録 14:6-12)。
- b. 初期の教会のように、世に対するわたしたちのメッセージの中心主題は何であるべきですか (使徒行伝 5:42; コリント第一 2:2)。

「クリスチャンだと公言するすべての人々の中で、セブンスデー・アドベンチストは、世の前に真っ先にキリストを掲げなければならない。第三天使のメッセージの宣言は、第四条の安息日の提示を求めている。この真理は、このメッセージに含まれているほかの真理と共に宣布されるべきである。しかし、魅力の大中心、イエス・キリストが取り残されてはならない。憐れみと真理が共に会い、義と平和が互いに口づけするのは、キリストの十字架においてである。罪人はカルバリーを眺めなければならない。幼子の単純な信仰をもって、彼は救い主の功績に信頼し、このお方の義を受け入れ、このお方の憐れみを信じなければならない。」(福音宣伝者 156, 157)

2. 唯一の救い主キリスト

- a. 福音はキリストがすべてであるため（ローマ 1:1-3）、まずどの知識を得てから、世に行ってそれを宣布しなければなりませんか（ペテロ第二 3:18; ピリピ 3:7, 8）。

「全心全霊を働きにうちこみ、キリストを知る知識の絶大な価値のゆえに、いつさいのものを損と思うようであれば、だれも神への奉仕に成功することはできない。」（各時代の希望上巻 346）

- b. なぜ真のキリストの知識が非常に重要なのですか（マタイ 24:24）。偽のキリストたちと偽の預言者たちは、どのように人々の前に現れますか（コリント第二 11:13-15; マタイ 7:15）。

「地上の墮落天使たちは悪人たちと同盟を組む。この時代に反キリストが真のキリストとして現われ、それから神の律法はわたしたちの世界の諸国家で完全に無効にされるであろう。神の聖なる律法に対する反逆が完全に熟す。しかしこのすべての反逆の真の指導者は、光の天使として装っているサタンである。人々は欺かれ、彼を神の代わりに高めて彼を神格化する。」（レヴィエ・アノド・ハルド 1893年9月12日）

- c. わたしたちが信じ宣布するキリストが、元々の使徒たちによって宣布された真のキリストであることは、なぜ重要なのですか（ヨハネ 14:6; 使徒行伝 4:10-12）。

「天への道は唯一つである。わたしたちはイエスのみ足の跡に従って歩み、このお方がご自分の御父のわざをなさったように、このお方のわざをしなければならぬ。わたしたちは人の方法ではなく、このお方の方法を研究し、わたしたち自身の意志ではなく、このお方のご意志に従わなければならない。

……このお方が道であり、真理であり、命である。」（わたしたちの御父はかえりみて下さる 264）

「もしあなたが自分の罪を自覚しているならば、それらを嘆いてすべての力を使い尽くしてはならない。そうではなく、見て生きよ。イエスがわたしたちの唯一の救い主であられる。そして……このお方の功績に信頼する人は一人も滅びるままにされない。わたしたちはキリストなしには無力な状態であることを悟る一方で、失望してはならない。十字架につけられ、よみがえられた救い主により頼まなければならない。哀れな罪に病み失望した魂は、見て生きよ。イエスをご自分のみ言葉を保証された。このお方はご自分の御許に来る人をみな救われる。」（セレクトド・メッセージ 1巻 352）

3. 真のキリストのしるし

- a. 靈感はイエス・キリストご自身の中にある神性と人性の結合をどのように説明していますか（ピリピ 2:5-8）。

「わたしたちの救いの創始者」は、自ら進んで人性を取られた。それはこのお方ご自身の行為であり、このお方ご自身の同意によるものであった。このお方の神性は人性で覆われた。このお方はずっと神であられたが、神として現れなかった。このお方は、神の宇宙の敬意を要求し、崇敬を呼び覚ます神格の表れを覆われた。このお方は地上におられたときに神であられたが、神のみかたちを脱ぎ、その代わりに人のすがたとさまを取られた。このお方は地上で人として歩まれた。わたしたちのために貧しくなられたが、それはこのお方の貧しさによってわたしたちが富むためであった。このお方はご自分の栄光と大能をわきへおかれた。このお方は神であられたが、神のみかたちの諸々の栄光をしばらくの間、手離された。」（ビュー・アンド・ワールド 1887年7月5日）

- b. このお方の人性に関して、イエスの両親が過越の祭の時にイエスを見失ったとき、このお方は何歳でしたか。またバプテスマのヨハネによってバプテスマをお受けになったとき、何歳でしたか（ルカ 2:42, 43; 3:21-23）。

「わたしたちはわたしたちの主の人性をできる限り真実に把握したいのである。キリストのうちに神性と人性はつながっていた。そして両方とも完全であった。」（ヘクテッド・メッセージ 3巻 135）

- c. このお方の神性に関して、このお方が存在されたのはどれほど前に遡（さかのぼ）りますか（ミカ 5:2; ヨハネ 17:5, 24）。

「キリストは世の基が敷かれる以前から、御父と一つであられた。……

キリストは先在する自存の神の御子であられる。……このお方の先在性について言えば、キリストは果てしない幾時代を通じて思いを遡らせる。このお方はとこしえの神と親しい交わりのうちになかった時はかつてなかったことをわたしたちに保証しておられる。……

このお方の神の命は、人間の計算では数えることができない。キリストの受肉以前の存在は、数字によって計られない。」（信仰によってわたしは生きる 46）

4. 真のキリストのしるし(続)

- a. イエスはどのようにご自分がホレブ山でモーセに現れた自存の神であられた事実を説明されましたか(ヨハネ 8:58(出エジプト記 3:14, 15 参照))。

「イエスは、おごそかな威厳もって、『よくよくあなたがたに言うておく。アブラハムの生れる前からわたしは、いるのである』と答えられた(ヨハネ 8:58)。……永遠の存在についての観念を表わすためにモーセに与えられた神のみ名が、このガリラヤのラビによって自分のものとされた。イエスは、ご自分が自力によって存在されるおかた、『その出るのは昔から、いにしえの日からである』とイスラエルに約束されたおかたであると宣言された(ミカ書 5:2)。(各時代の希望中巻 261)

「ホレブ山のやぶの中から『わたしは、有って有る者。……イスラエルの人々にこう言いなさい、「わたしは有る」というかたが、わたしをあなたがたのところへつかわされました。』とモーセに語られたのはキリストであった(出エジプト記 3:14)。これはイスラエルの救済についての保証であった。だからキリストは、『しもべのかたち』をとっておいでになったとき、ご自分を『わたしは有るという者』として宣言された。ベツレヘムの子、柔和で心のへりくだった救い主は、『肉において現れ』た神であった。(テモテ第一 3:16)。(同上上巻 10)

- b. イエスは、神聖な存在として、ご自分が父なる神と同じ神性、本質、また特質を持っておられるという真理を、どのように表現されましたか(ヨハネ 10:27-30; コロサイ 1:18, 19)。

「言であり、神のひとり子であったキリストは、永遠の父と一つ、すなわち、その性質、品性、目的が一つであって、神のあらゆる計画と目的に参加できる唯一のおかたであった。『その名は、霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君』となえられる』(イザヤ書 9:6)。(人類のあけぼの上巻 2)

「〔ヨハネ 10:21-30 引用〕……ユダヤ人は人間の口からこのような言葉を、そしてそれらに伴う説得力をかつて聞いたことがなかった。なぜなら、イエスが『わたしと父は一つである』と言われたときに、人性から神性がひらめいたように見えたからである。キリストがご自分は御父と本質において一つであり、同じ特質を持っておられることを主張されたとき、キリストの言葉は深い意味に満ちていた。」(サイン・オブ・タイムズ 1893年11月27日)

5. 御父との神聖な協力者

- a. だれによって世界は創造されましたか。この事実はキリストの先在性に関連してどのような意味を持っていますか（ヨハネ 1:2, 3; エペソ 3:9; コロサイ 1:15-17）。

「もしキリストが万物を創造されたのであれば、このお方は万物以前に存在しておられたのである。このことに関して述べられている言葉は非常に明確でだれ一人疑いのうちに取り残される必要はない。キリストは本質において、また最高の意味において神であられた。このお方は永遠のときから神と共におられ、すべてにまさる神であられ、とこしえにほむべきお方である。」（セクレット・メッセージ 1巻 247）

- b. 御父なる神は、どのようにキリストの神格をお認めになりましたか。そしてこの表明はわたしたちにどのような保証を与えますか（ヘブル 1:8-12）。

「『わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか』とイエスは言われた（ヨハネ 11:25, 26）。キリストはここでご自分の再臨の時を予期しておられる。その時、死せる義人は朽ちない者としてよみがえり、生ける義人は死を見ないで天へ移されるのである。キリストがラザロを死人の中からよみがえらせることによって行おうとしておられた奇跡は、死せるすべての義人のよみがえりを代表するのであった。キリストはみことばとみわざによって、ご自分がよみがえりの創始者であることを宣言された。まもなくご自分が十字架の上に死のうとしておられたキリストは、よみの征服者として死の鍵をもって立ち、永遠の生命を与える権利と権力を主張された。」（各時代の希望中巻 346）

個人的な復習問題

1. わたしたちが世に伝えるべきメッセージの中心は何であるべきですか。
2. わたしたちは真のキリストであると主張する偽キリストをどのように見極めることができますか。
3. ホレブ山でモーセに現れた神格はどのお方でしたか。
4. 聖書から、イエスは御父と共に共同の創造者であられたことを、どのように証明することができますか。
5. もしイエスがわたしたちの創造主であれば、この事実はこのお方について何を教えますか。

キリストの受肉

「御使は〔羊飼いたちに〕言った、『恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。』（ルカ 2:10, 11）

「神の御子の人性は、わたしたちにとってすべてである。それはわたしたちの魂をキリストに結びつけ、キリストを通して神へ結びつける金の鎖である。これこそ、わたしたちの研究課題となるべきである。キリストは本物の人であられた。このお方は人となられることによってご自分のへりくだりの証拠をお与えになった。しかし、このお方は肉において現れた神であられた。」（セラフ・メッセージ 1 巻 244）

推奨文献： 各時代の希望上巻 1～13; 21～36

日曜日

5月8日

1. 場面の背後に

a. アダムとエバの墮落に、神格はどのように反応なさいましたか（ヨハネ第一 4:10）。

「神格は人類のために同情でかきたてられた。そして御父、御子、聖霊は贖いの計画を実行するために自らをお捧げになった。この計画を完全に実行するために、キリスト、すなわち神のひとり子が罪のための捧げ物としてご自身を捧げられることが決定された。」（ビュー・アンド・ヘルド 1912 年 5 月 2 日）

b. アダムとエバは禁じられた実を食べたその日になぜ死刑に処せられなかったのですか（ヨブ 33:24; マルコ 10:45; 黙示録 13:8（下旬））。

「アダムがサタン（サタン）の誘惑に屈し、神がまさにはならないと禁じられたことをした瞬間、神の御子キリストが生ける者と死せる者の間に立たれて言われた。『刑罰をわたしに下してください。わたしが人の代わりになります。彼をもう一度試してください』。不法は全世界を死刑の宣告の下においた。しかし、天では声が次のように語るのが聞こえた、『わたしはあがないしろを得た』。（サインズ・オブ・タイムズ 1900 年 6 月 27 日）

2. 救いの計画

- a. 救いの計画全体を可能とするために、キリストがとられた最初の一步は何でしたか（ヘブル 2:9）。

「イエスは、失われた人類のためにのがれの道が備えられたことを天使の万軍にお知らせになった。イエスは、ご自分の生命を身代金として提供し、死の宣告をご自身に引きうけたいと天父に嘆願なさったことを語られた。それは、イエスを通して人類が罪のゆるしを得、イエスの血の功績を通し、また神の律法に従うことによって神の恩恵をあたえられ、美しい園へつれて行かれて生命の木の実を食べることができるようになるためだった。

最初天使たちはよろこぶことができなかった。……イエスは彼らに……〔次のように〕お語りになった。……イエスは、天の一切の栄光を捨てて、この地上に人としてあらわれ、人として身をいやしくし、人の受けるすべての誘惑を自らの経験を通して知り、どうしたら試みられる人々を救助することができるかを知られるのである。……

イエスは、天使たちにも果たさねばならない役割があることをお語りになった。すなわち、彼らはイエスと一緒にいて、幾度かイエスを力づけるのである。イエスは人間の墮落した性情をとられるので、その力は天使たちに匹敵することさえできない。天使たちが、イエスの屈従や大きな苦難の目撃者となり、イエスの苦難や彼に対する人々の憎悪を目に見るときに、彼らは、魂の奥底までゆり動かされ、イエスを愛するあまり、彼を殺害者の手から救い出そうと思うのだが、手出しをして目の前に起こるとどんな事柄も妨げてはならないのである。

サタンは、人類を墮落させたことによって、神のみ子をその高い地位から引きおろすことができるといって、悪天使たちと一緒によろこんだ。イエスが墮落した人間の性情をとられるなら、彼を圧倒して救いの計画の成就をさまたげることができると、サタンは悪天使たちに語った。」（初代文集 260～265）

- b. どの特質によって、キリストは受肉以前には死ぬことが不可能でしたか（テモテ第一 6:14-16）。

「キリストが十字架にかかられたときに、死んだのはこのお方の人性であった。神性は沈むことも死ぬこともない。それは不可能なことである。」（彼を掲げよ 76）

3. 神の御子は人の子とられた

- a. 「言は肉体となり」(ヨハネ 1:14) という表現は何を意味しますか?(ヘブル 2:14(上句))。

「神性と人性は神秘的に結合していた。そして人と神が一つになった。わたしたちが墮落した人類の希望を見出すのは、この結合においてである。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 5 巻 1130)

- b. キリストがこの地上に来られたとき、墮落した人類の性質を持っておられたことを使徒パウロはどのように確認していますか(ローマ 1:3; 8:3)。

「キリストは人性を持っていたように信じさせたのではなかった。まさにそれを取られたのである。このお方が現実に人性を所有しておられた。」(セクレット・メッセージ 1 巻 247)

「このお方はご自身に墮落した苦しむ人性、すなわち罪によって退廃し汚れた人性を取られた。このお方はわたしたちの悲しみを引き受け、悲嘆と恥辱を負われた。このお方は人からみつくあらゆる誘惑に耐えられた。このお方は人性を神性と結合させた。神なる霊が肉の宮のうちに宿ったのである。このお方は自らを宮と結合させられた。『言葉は肉体となり、わたしたちのうちに宿った』(ヨハネ 1:14)。そうすることによって、このお方は罪深く悲しんでいるアダムの息子娘たちと交わることがおできになったのである。」(ユース・インストラクター 1900 年 12 月 20 日)

- c. なぜキリストは墮落以前の人性の代わりに墮落後の人性を取られる必要が合ったのですか(ヘブル 2:16-18)。

「救い主は、……神の栄光を示し、その回復力によって人が高められるようにこの世にこられた。神はキリストのうちにあらわされたが、それはキリストを通して神が人々のうちにあらわされるためであった。イエスは、人がイエスに対する信仰を通して持つことのできないような特性をあらわしたり、能力を働かせたりされなかった。キリストの完全な人性は、キリストに従うすべての者が、キリストと同じように神に服従するときに所有することのできるものである。」(各時代の希望下巻 147)

「人生という衣をまとして、神の御子をご自分が救おうと望む人々の水準にまで下ってこられた。このお方のうちには偽りの罪の性質もなかった。このお方はいつも純潔で汚されていなかった。それでいながら、このお方はわたしたちの罪深い性質をご自分の身に負われた。このお方は、不従順によってアダムが自分自身と世界のために失ったものを、人類のために再び得ようとした。」(レビュー・アンド・ハラルド 1896 年 12 月 15 日)

4. 受肉の意義

- a. 何が、キリストに仲保者としてのご自分の役割を果たす資格を与えましたか（テモテ第一 2:5）。

「イエスだけが神に担保を与えることがおできになった。なぜなら、このお方は神と等しいお方だからであった。このお方だけが神と人の間の仲保者となることができた。なぜなら、このお方は神性と人性を所有しておられるからであった。イエスはこのようにして記述された条件の成就について両者に担保を与えることがおできになった。神の御子としてわたしたちのために神に担保を与え、またとこしえのみ言葉として、御父と等しいお方として、ご自分の誓いの言葉を信じるわたしたちへの御父の愛をわたしたちに保証してください。神がわたしたちにご自分の変わらない平安の勧告を保証して下さるとき、このお方はご自分のひとり子を人類家族の一人とならせるために、すなわち神がご自分のみ言葉を成就するという誓いとして永遠にその人性を持ち続けるために与えて下さったのである。」（ビュー・アノド・ヘルド 1894年4月3日）

- b. 罪の結果、人類の神に対する関係に何が起こりましたか。またこの絆はどのようにして回復されましたか（イザヤ 59:2; ガラテヤ 4:4, 5）。

「神の御子の人性は、わたしたちにとってすべてである。それはわたしたちの魂をキリストに結びつけ、キリストを通して神へ結びつける金の鎖である。」（ユース・インストラクター 1898年10月13日）

「神と人とを永遠にひき離すことがサタンのもくろみであった。しかしキリストのうちにあるときに、われわれは墮落しなかった場合よりもっと密接に神につながるようになるのである。救い主は、われわれの性質をおとりになることによって、決してたちぎれることのないきずなでご自分を人類にむすびつけられた。……神はみ子自身のうちに人間の性質をとり入れ、これを一番高い天にまで持ちつづけさせられた。神とともに宇宙のみ座を占めておられるのは『人の子』である。その名を『靈妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君』ととなえられるのは『人の子』である（イザヤ 9:6）。……『聖にして、悪もけがれもなく、罪人とは区別され』るお方は、われわれを『兄弟と呼ぶことを恥じ』たまわない（ヘブル 7:26; 2:11）。」（各時代の希望上巻 11, 12）

「人類をキリストのうちに導き入れ、墮落した人類を神性と一つにすることが贖いの働きである。キリストはご自分が御父と一つであられるように、人間がご自分と一つとなれるように人の性質をとられた。それは神がご自分のひとり子を愛するように人を愛し、人が神性にあずかる者となり、このお方のうちに完全となることのできるためである。」（エレクテッド・メッセージ 1巻 251）

5. 受肉の意義 (続)

- a. キリストの受肉を通して、人類の創造における神のどのご目的が成就しましたが(コリント第一 6:19)。

「輝く聖なるセラフから人間にいたるまで、すべての被造物が創造主の内住される宮となることが、永遠の昔から神の目的であった。罪のために人類は神の宮となくなつた。人の心は、悪のために暗くなり、けがれたものとなつたので、もはや聖なる神の栄光をあらわさなくなつた。しかし神のみ子の受肉によって天の神の目的は達成された。神は人類の中にお住みになり、救いの恵みを通して、人の心はふたたび神の宮となる。」(各時代の希望上巻 186)

- b. イエスの受肉を天使たちはどのように呼びましたか。それはなぜですか(ルカ 2:6-11)。

「貧しい者に喜びあれ、なぜなら、キリストが彼らをご自分の御国の相続者とされたからである! 富める者に喜びあれ、なぜなら、このお方は彼らが永遠の富を天に確保できるようにどのように地上の富を用いるべきかを教えて下さつたからである! 無知な者に喜びあれ、なぜならこのお方は救いに至る知恵を彼らに与えるために来て下さつたからである! 学識ある者に喜びあれ、なぜならこのお方は彼らの理解力に、彼らがかつて探りえなかつた更に深い奥義を開いてくださるからである!」(預言の霊 2 巻 191)

「人類のためのキリストのへりくだりは天使たちにとって驚異であつた。キリストを通しての贖いは、彼らにとって愛と知恵の奥義であつた。」(レビュー・アント・ハルト 1909年7月15日)

個人的な復習問題

1. アダムとエバはなぜ、罪を犯してから何百年も生きることが許されたのですか。
2. キリストは神のみ前に人類のための第二の恩恵期間を確保したどの誓いをなさいましたか。
3. なぜキリストはアダムの墮落した性質を取らなければならなかつたのですか。
4. キリストが 受肉なしに世を贖うことを不可能にしたのは何ですか。
5. キリストの誕生が本当にあなたにとってよき知らせであることを発見しましたか。なぜですか。

キリストの義

「わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。……それらのものを、ふん土のように思っている。それは、わたしがキリストを得るためであり、律法による自分の義ではなく、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基く神からの義を受けて、キリストのうちに自分を見いだすようになるためである。」(ピリピ 3:8, 9)

「人が自らを救うことは不可能である。彼はこのことに関して自分を欺くことは可能であっても、自分自身を救うことはできない。キリストの義だけが彼の救いのために効力がある。そしてこれは神の賜物なのである。」(エレケッド・メッセージ 1巻 331)

推奨文献：信仰と行い 15-27

日曜日

5月15日

1. 永遠の命の条件

a. エデンでアダムに与えられた地位は何でしたか (創世記 1:28)。

「アダムはエデンにおいて最高の王であった。彼に神が創造されたすべての生けるものに対する支配権が与えられていた。主は他のどの被造物にもお与えにならなかった知性をもってアダムとエバを祝福された。このお方はアダムをご自分のすべてのみ手のわざに対する正統な君主とされた。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 1巻 1082)

b. アダムにどのテストが与えられていましたか (創世記 2:16, 17)。何が人類にこのテストに合格する資格を与えますか (創世記 1:26, 27)。

「人は元来、高尚な力とよく均衡のとれた知性を授けられていた。彼は存在において完全で、神に調和していた。彼の思想は純潔で、その目的は聖いものであった。」(サインズ・オブ・タイムズ 1905年10月25日)

2. アダムは永遠の命を持ち続けることに失敗した

- a. アダムの不従順の結果のいくつかを挙げなさい（創世記 2:17; エゼキエル 18:4（下句）。神の反応は何でしたか（ヨハネ 3:16）。

「神のご命令に対するアダムの不従順は人類家族を死刑の下へおいた。『アダムにあってすべての人が死』ぬ、そして永遠の命ではなく、永遠の死が不法を継続するすべての人の最終的な刑罰である。」（サインズ・オブ・タイムズ 1897年6月17日）

「神の作品が神の御国の律法への従順を拒んだ瞬間、すなわち彼が神の統治に対して不忠実になった瞬間、彼は神が与えてこられたすべての祝福を受ける価値のないものとなった。……

そして人が死滅させられなかった理由は、神が彼を非常に愛し、ご自分のいとし子という賜物を与えて人類の不法の刑罰を受けないようにして下さったためであった。キリストは、人が比類のない恵みを通して、アダムとエバの経験を彼らのように神の律法を犯さないようにという警告として受け、もう一度の試験—第二の恵恩期間—を得ることができるために、人の保証、また身代わりとなることを申し出られた。」（信仰と行い 21）

- b. 永遠の命を得るための条件は、墮落後もなお神の律法への従順であることを、キリストはどのように示されましたか（ルカ 10:25-28; マタイ 19:16, 17）。

「とこしえの命を受ける条件は、わたしたちの祖先が罪に陥る前すなわちパラダイスにいたときと全く同じであって、それは、神のおきてに完全に服従すること、つまり完全に義であることである。もしとこしえの命がこの条件以下で与えられるものであるとすれば、全宇宙の幸福は危険にさらされ……ることになる。」（キリストへの道 81）

「キリストは、戒めが要求することを、少しもゆるやかにはなさない。絶対にまちがう余地のないはっきりしたことばで、永遠の命に入るには、戒めに従わなければならないことをお示しになった。これは、墮落前のアダムに要求されたのと同じ条件である。……恵みの契約の下で要求されることは、エデンで要求されたものと同様に広いもので、清く、正しく、善である神の戒めとの調和である。」（キリストの実物教訓 370）

3. 人間のわざに救いはない

- a. 罪の後も永遠の命のために条件の変更はなかったが、人類の性質にはどのような変化がありましたか。またその結果は何でしたか（エペソ 2:3; ローマ 3:11, 12）。

「[アダムとエバ] ……の性質は、罪のために墮落し、悪に抵抗する力が弱まり、サタンが容易に彼らに近づく道を開いたことを彼らは知らされた。」（人類のあけぼの上巻 51）

- b. アダムの子孫は彼の罪のない性質を受け継ぎましたか、あるいは彼の墮落後の性質ですか（詩篇 51:5）。アダムの子孫は自分自身で何ができなくなりましたか。またそれはなぜですか（ローマ 3:23; ローマ 8:7）。

「罪に陥る前、アダムは神のおきてに服従することによって、正しい品性をつくり上げることができたが、かれはこれに失敗し、かれの罪のために、わたしたちは生れながら罪あるものとなり、自分の力で義となることはできなくなった。わたしたちは罪深く汚れているので、きよいおきてに完全に従うことができない。神のおきての要求に応じうる義を持ちあわせていない。」（キリストへの道 81）

- c. 義と認められるためには、キリストの功績よりも自分自身の行いにより頼もうとする人々について、何と記されていますか（ガラテヤ 3:10; ローマ 9:31-33）。

「律法を守ることに於いて自分自身の行いによって天へ到達しようとしている人々は、不可能なことを試みているのである。……人が救いを得るために自分自身の力でなす努力はカインの捧げ物によって表されている。キリストなしに人ができることはみな利己心と罪によって汚れている。」（信仰と行い 94）

「ラビたちは自分自身の義を天国へのパスポートとみなしたが、イエスは彼らの義を不十分な、価値のないものと断言された。パリサイ人の義は、外面的な儀式と、真理についての理論的な知識にあった。ラビたちは、律法を守る自分自身の努力によって、自分たちが聖潔であると主張した。だが彼らのわざは、義を宗教から引き離していた。彼らは儀式を守ることはきちょうめんだったが、その生活は不道德で、墮落していた。彼らのいわゆる義は、決して天国にはいることができなかった。」（各時代の希望中巻 15.16）

4. キリストがわたしたちの義となられた

- a. 人類は永遠の命に対する自分たちの権利を放棄しましたが、御父は何をすることを決心されましたか（ガラテヤ 4:4, 5）。キリストが人となられたとき、第二のアダムとしてどの立場を占められましたか（コリント第一 15:47）。

「墮落後、キリストはアダムの指導者となられた。……時が満ちるに及んで、このお方は人の姿で現れるのであった。このお方は人の罪深さではなく、人の性質を取られることによって、人類の頭としてご自分の立場を取られるのであった。」（サインズ・オブ・タイムズ 1901年5月29日）

- b. キリストはわたしたちのために永遠の命を得るために、何をなさらなければなりませんでしたが（マタイ 5:17, 18）。イエスはどのように律法を成就なさいましたか（ペテロ第一 2:22）。

「律法は義すなわち正しい生活、完全な品性を要求する。しかし人はそれを与えることができない。彼は神の聖なる律法の要求に応ずることができない。けれどもキリストは、人としてこの地上においてになって、聖なる一生を送り、完全な品性を発達させられた。これらのものを、キリストは受け入れる人にはだれにでも無料の贈り物として提供される。」（各時代の希望下巻 288）

「地上の生涯において、キリストは完全な品性を発達させられた。このお方はご自分の御父の戒めに完全な従順をお捧げになった。人のかたちのうちにこの世に来られることにおいて、律法の支配下に来られることにおいて、ご自分が彼らの病、悲しみ、罪を負われたことを人に明らかにされることにおいて、このお方は罪人とはならなかった。……罪のしみの一つさえ、このお方の上には見いだされなかった。このお方は世の前にしみのない神の小羊となられた。」（ユース・インストラクター 1898年12月29日）

- c. 人類のために永遠の命の条件に応えられたのち、御父からのどの賜物をキリストは各人に差し出しておられますか（ローマ 6:23; ヨハネ第一 5:11）。

「世の救い主は永遠の命という賜物を過ちに陥っている者に差し出しておられる。このお方は道から外れて、悔い改め、苦しんでいる息子を許すために、地上の親の心を動かすやさしい同情にまさるご自分の愛と許しの申し出への反応を待っておられる。」（サインズ・オブ・タイムズ 1876年4月20日）

5. 信仰のみによって義と認められる

- a. アダムの不従順がわたしたちを罪人としたように、だれの従順によって、わたしたちは義とされますか（ローマ 5:17-19）。信仰によって、わたしたちがキリストの義をつかむとき、わたしたちは神の目にどのように映りますか（ローマ 3:28）。

「〔わたしたちは〕神のおきての要求に応じうる義を持ちあわせていない。しかし、キリストは、わたしたちのために逃れる道を備えてくださった。キリストは、この地上でわたしたちが会わねばならない試練と誘惑のまった中で生活し、罪なき生涯を送られた。そして、わたしたちのために死に、今やわたしたちの罪を取り除いて、ご自分の義を与えようとしておられる。もし自分をキリストにささげ、キリストを自分の救い主として受け入れるならば、その生涯はこれまでいかに罪深いものであっても、かれのゆえに義とみなされるのである。キリストの品性があなたの品性の代りとなり、神の前に全然罪を犯したことの無いものとして受け入れられるのである。」（キリストへの道 82）

- b. 悔い改めた信徒が義と認められるとき、死に際してさえ、その人はどの希望がありますか（ヨハネ 3:16（下句）；テトス 3:7；コリント第一 15:21, 22）。

「信仰によって〔罪人は〕神のみ許へキリストの功績を持っていくことができる。そして主はご自分の御子の従順を罪人の口座に置かれる。キリストの義は人間の失敗の代わりに受け入れられる。そして神は悔いた信じる魂を受け入れ、許し、義認し、彼をあたかも義人であるかのように扱い、ご自分の御子を愛されるように彼を愛されるのである。」（セレクトド・メッセージ 1 巻 367）

個人的な復習問題

1. 墮落前と墮落後の永遠の命の条件は何でしたか。
2. 罪のゆえに、人間の性質にはどのような変化がありましたか。
3. 律法を守ることを通して義人になろうとする人々は、なぜのろわれるのですか。
4. 「キリストわれらの義」という表現から何を理解しますか。
5. もしキリストの義を信じる信仰を通して義人とみなされる人が死んだとしたら、その人の希望は何ですか。

キリストの贖罪の死 (I)

「兄弟たちよ。わたしが以前あなたがたに伝えた福音……を、思い起してもらいたい。……あなたがたが、……この福音によって救われるのである。……すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと」(コリント第一 15:1-3)

「十字架にかかれながら、キリストは福音であられた。今、わたしたちには『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』とのメッセージがある(ヨハネ 1:29)。……これこそ、わたしたちのメッセージ、わたしたちの論拠、わたしたちの教理、悔い改めない者へのわたしたちの警告、悲しんでいる者へのわたしたちの励まし、すべての信徒のための希望である。」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホト・コメント] 6 巻 1113)

推奨文献：各時代の希望下巻 257-292

日曜日

5月22日

1. 見いだされた贖い代

- a. イサクの犠牲の経験において、神はどのような備えをなさいましたか。またこれは人間の経験において、どのような意味がありますか(創世記 22:7-13; ヨブ 33:24)。

「イサクのかわりにささげられた雄羊は、われわれの身代わりとして犠牲となられる神のみ子を代表していた。人間が神の律法を破って死ぬべき運命に陥ったとき、父なる神は、み子をながめて、罪人に『生きなさい。わたしは、身代わりを見つけた』と言われた。」(人類のあけぼの上巻 161)

- b. 人類の救いのために、いつ備えがなされましたか(マタイ 25:34; 黙示録 13:8 (下句))。

「神がまさにはならないと禁じられたことを……人がした瞬間、神の御子キリストが生ける者と死せる者の間に立たれて言われた。『刑罰をわたしに下してください。わたしが人の代わりになります。彼をもう一度試してください。』」(SDA バイブル・コメント [E・G・ホト・コメント] 1 巻 1085)

2. 来るべき救い主に集中している希望

- a. イエスは人類の罪のために死ぬために、どの高さから来られましたか（テモテ第一 6:14, 16; ペリピ 2:6）。

「イエスは、ご自分の生命を身代金として提供し、死の宣告をご自身に引きうけたいと天父に嘆願なされた。……それは、イエスを通して人類が罪のゆるしを得、イエスの血の功績を通し、また神の律法に従うことによって神の恩恵をあたえられ、美しい園へつれて行かれて生命の木の実を食べることができるようになるためだった。……

イエスは、天の一切の栄光を捨てて、この地上に人としてあらわれ、人として身をいやしくし、……最も残酷な死に方によって、不義な罪びととして天と地との間にかけてられるのであった。」（初代文集 260～262）

- b. アダムが罪を犯した後、どの約束が与えられましたか。この誓いにはどのような意味がありましたか（創世記 3:15）。

「〔創世記 3:15 引用〕。アダムとエバが聞いているところで語られたこの宣告は、彼らにとっては、約束であった。……

天使たちは、われわれの祖先に、人間の救いのために考え出された計画をさらにくわしく教えた。……神のみ子が、彼らの罪を贖うために、ご自身のいのちを提供されたのである。彼らに恵みの期間が与えられ、悔い改めとキリストを信じる信仰とによって、彼らは、ふたたび、神の子となることができるのであった。」（人類のあけぼの上巻 58, 59）

- c. 罪が世界に入った後に、どの制度がアダムとその子孫に紹介されましたか。その目的は何でしたか（創世記 4:3-5; ヘブル 9:13, 14, 28）。

「墮落した人類に救いを備える無限の犠牲の計画が明らかにされた。神のいと子の死以外のものでは、人の罪を償うことができなかつた。そしてアダムは罪人のためにこのような贖い代を提供される神のいつくしみ深さに驚嘆した。……犠牲と捧げ物の型としての制度を制定することによって、キリストの死がつねに罪人の前に保たれ、こうして彼が罪の性質、不法の結果、そして神聖な捧げ物の功績をよりよく理解するためであった。」（サインズ・オブ・タイムズ 1893年2月20日）

3. 全人類の救い主

- a. しかるべき時が来たときに、御父は人類を罪のくびきから解放するために何をすることを決心されましたか（ガラテヤ 4:4, 5）。キリストはだれを救うためにこの世に来られましたか（テモテ第一 4:10; ヨハネ第一 4:14）。

「〔キリストは〕すべての人のために死を味わわれた。そしてこれゆえに、このお方はすべての人に、心を動かす深い関心を持っておられる。」（教会への証 9 巻 222）

「サマリヤ人は、メシヤがユダヤ人の救い主としてばかりでなく、世の救い主としておいでになることを信じた。聖霊は、モーセを通して、イエスを、神からつかわされた預言者と予告していた。ヤコブを通して民はイエスのもとに集められることが告げられ、またアブラハムを通して、地の諸国民がイエスのうちにあつて祝福されるということが告げられていた。サマリヤの人々はメシヤに対する彼らの信仰をこうした聖書のみことばに置いた。……

イエスはユダヤ人と異邦人との間をへだてている壁をとりこわし、世界に救いのべ伝え始めておられた。」（各時代の希望上巻 230, 231）

- b. 世の救い主となられるために、キリストはどのかたちをとって、地に下られましたか（ピリピ 2:7, 8）。
- c. キリストが全人類のために死なれたとき、イエスのどの言葉が、死なれたのはこのお方の人性であつて神性ではないことを、わたしたちに示していますか（ヨハネ 10:17, 18）。

「『命を捨てるのは、それを再び得るためである』と言われたお方が（ヨハネ 10:17）、墓からご自身の内にあつた命へと出て来られた。人性は死んだ。神性は死ななかつた。ご自分の神性のうちに、キリストは死のくびきをこぼつ力を持っておられた。このお方はご自身のうちに望む者をよみがえらせる命があると宣言しておられる。」（セレゲッド・メッセジ 1 巻 301）

「『わたしはよみがえりであり、命である』（ヨハネ 11:25）。この言葉はただ神格のみが用いることができる。すべての被造物は神の御旨と力によって生きている。彼らは神の御子の命を受けることに依存している。……彼らはあらゆる命の源なるお方から命を補給されている。不死を持ち、光と命のうちに住んでおられるお方だけが、『わたしには、それを捨てる力があり、またそれを受ける力もある』とすることがおできになった。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホト・コメト] 5 巻 1113）

4. 信徒たちにとって第二の死は無効にされた

- a. 永遠の死の刑罰がキリストを自分の救い主として拒否する人々の上に科されるときに、それは何と呼ばれていますか。またそれはなぜですか（黙示録 20:14; 21:8）。

『罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである』（ローマ 6:23）。義人の嗣業は生命であるが、悪人が受けるものは死である。モーセは、イスラエルに次のように宣言した。『見よ、わたしは、きょう、命とさいわい、および死と災をあなたの前においた』（申命記 30:15）。この聖句の中で言われている死、……永遠の生命と対照されているのは、『第二の死』である。』（各時代の大争闘下巻 294）

- b. 第二の死を受ける人々の絶望感を、イエスはどのように体験されましたか（マタイ 27:46; ヘブル 2:9）。

「キリストは神の怒りの杯が罪人の上に注ぎだされる時に感じるように感じられた。死の帳（とばり）のような暗黒の絶望が彼らの罪深い魂のまわりにたれこめ、そしてそのとき、彼らは罪の罪深さを最大限に悟るのである。……もし彼らが天の恩恵を拒むなら、……自分たちの選択したものを得て、ついには自分たちの報酬、すなわち神の怒りと永遠の死を受けるのである。彼らは永遠にイエスの御前から分かたれる。このお方の犠牲を、彼らは蔑んだのである。」（教会への証 2 巻 210）

- c. 死を通して、キリストはわたしたちのために何を無効にしてくださいましたか。またこのお方はわたしたちのために何を可能としてくださいましたか（テモテ第二 1:10; ヨハネ 5:24; 黙示録 2:11）。

「服従することを条件として人間に約束された不死は、戒めにそむいたために失われた。……もし神が、み子の犠牲によって、不死を与えてくださらなかつたら、墮落した人類に生きる望みはなかつたのである。……だれでも条件に応じさえすれば、この貴重な祝福を手に入れることができる。『耐え忍んで善を行って、光栄とほまれと朽ちぬものとを求めろ』すべての『人に、永遠のいのちが与えられ』るのである（ローマ 2:7）。』（各時代の争闘下巻 279, 281）

5. 驚くべき交換

- a. キリストはどのような罪も何一つ犯されなかったにもかかわらず、なぜ罪の刑罰を完全に受けられたのですか (コリント第二 5:21; テトス 2:14)。

「イエスをご自分の上に人性を取られた。そしてそうすることによって、このお方はなんとという誉れを人類の上におかれたことであろう!このお方は人として苦しめられた。このお方は人と同じように誘惑されたが、罪は犯されなかった。このお方は罪を知らなかったにもかかわらず、わたしたちのために罪とされた。それはわたしたちがこのお方において神の義とされることのできるためであった。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1890年11月18日)

- b. キリストはわたしたちの罪と引き換えに、わたしたちに何を提供しておられますか (ローマ 5:17)。

「当然キリストが受けられるべきとり扱いをわれわれが受けられるように、キリストはわれわれが当然受けるべきとり扱いを受けられた。われわれのものではなかったキリストの義によってわれわれが義とされるように、キリストはご自分のものではなかったわれわれの罪の宣告を受けられた。キリストのものであるいのちをわれわれが受けられるように、キリストはわれわれのものである死を受けられた。」(各時代の希望上巻 11)

「わたしたちは神の愛を受けるにふさわしくない。しかしわたしたちの保証人であるキリストはそれにふさわしく、また彼に来るすべての者を豊かに救うことができになるのである。あなたの過去の経験がどうであろうと、また、現在の状況はどんなに落胆させるものであっても、弱く、力なく、気落ちしたままでイエスに来るならば、わたしたちのあわれみ深い救い主は、遠くからあなたを迎え、その愛のみ腕をあなたにのぼし、その義の衣をあなたに着せられる。……イエスは父のみまえでわたしたちのために嘆願される。そしてわたしはすでに罪人の代わりになりました、このわがままな子をごらんにならないで、わたしを見てくださいといわれる。もしサタンがわたしたちの罪を責め、わたしたちを彼の餌食であると主張して、大声で訴えても、キリストの血はより大きな力をもって嘆願するのである。」(祝福の山 10, 11)

個人的な復習問題

1. 人類に第二の恩恵期間を与えられた神のご目的は何でしたか。
2. アダムが 930 歳で死んだとき、彼は創世記 2:17 に述べられている自分の不法の刑罰を払いましたか。
3. イエスはだれのために十字架上でご自分の命をお与えになったのですか。
4. イエスが第一の死を滅ぼされなかった証拠は何ですか。
5. もしわたしたちが自分の罪をキリストの義と交換するならば、わたしたちもまた何をこのお方に捧げ、何をこのお方から受け入れなければなりませんか。

第一安息日献金

モンテネグロ、ポドゴリカの礼拝堂のために

モンテネグロはヨーロッパの山の多い国でバルカン半島の南部にあります。首都にして最大の都市はポドゴリカです。一方ツェティニエは、プリツェストニカ、つまり旧王家の古都として指定されています。モンテネグロは、歴史的にセルビアのオーソドックス教会の一員であり、セルビアのオーソドックスキリスト教が今日この地域の最も一般的な宗教です。また主にアルバニア人やクロアチア人の中にはわずかなローマカトリックの人々もいます。人口の 5 分の 1 の人がイスラム教の立場を取っています。



モンテネグロは自然の美しさと、オットマン帝国の支配の結果生じた動乱の歴史で有名です。自由を愛するモンテネグロの人々は戦争や隷属の困難に決して甘んじませんでした。幾世紀も通じて、彼らは打ち続く戦争の恐怖に直面してきました。毎月雪が降るモンテネグロの北部の荒涼とした自然と南部のアドリア海岸の穏やかな地中海気候を同じ国に持つことにより、この国の人々の特別な物の考え方が強い感情と共に形成されました。彼らは伝統的な価値と持つものを捨てることには非常に消極的です。このような状況下でセブンスデー・アドベンチスト改革運動はその働きを 1990 年代、すなわち何人かの海外の信徒たちの助けを得て、ポドゴリカに一画の土地を購入し、祈りと礼拝の家を建てたときに、その働きを開始しました。わたしたちの地元の教会団体は 1992 年以来この建物で運営してきました。

礼拝堂とポドゴリカ市の間の距離と、この都市との交通のつながりが困難なことから、わたしたちは既存の礼拝堂の場所を移し、救いのメッセージを聞く必要のある人々に近い場所に土地を購入することにしました。そのために世界のこの地域でなされる神のみ働きの前進のために追加的な資金を必要としているわけです。

世界中の安息日学校の信徒とメンバーの同士に、モンテネグロでの必要を覚えてくださるよう奨励します。また皆さんの惜しみない献金とお祈りを感謝します。

モンテネグロからキリストにある皆さんの兄弟姉妹より

キリストの贖罪の死 (II)

「わたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝える。このキリストは、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものであるが、召された者自身にとっては、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神の力、神の知恵たるキリストなのである。」(コリント第一 1:23, 24)

「キリストという賜物は御父のみ心を表している。それはわたしたちの贖いを引き受けられることによって、どれほど大切なものであっても、ご自分のみ働きの完成に必要なものは何一つ差し控えられないことを証している。」(教会への証 9巻 254)

推奨文献：セレクトド・メッセージ 1巻 389-394

日曜日

5月29日

1. 神は世をこれほどまでに愛された

a. 神の愛の深さを述べなさい (ヨハネ 3:16; ローマ 5:6-8)。

「キリストの死は、人類に対する神の深い愛を証明している。それはわれわれの救いの保証である。……

われわれは、天のみ父が無限の愛をもってわれわれを愛してくださっていることを、十字架によって学ぶのである。」(患難から栄光へ上巻 225, 226)

b. わたしたちは不信者たちから自分たちを分離させる、どの新しい戒めに従うよう努力すべきですか (ヨハネ 13:34, 35)。

「キリストが自分たちを愛してくださったように、弟子たちは互いに愛するのであった。彼らは男子女子供の救いのために自分の力になしうることをすべてなすことによって、自分たちの心に宿っている彼らへの愛を示すのであった。しかし、彼らは同じ信仰を持つすべての人々に特別に優しい愛を表すのであった。……

自分の兄弟に対するキリストのような愛を持たずに永遠の命にいたる信仰を持つことができると思うのは、最も大きく致命的な欺瞞である。」(SDA パイブル・コメント [E・G・ホブ・コム] 5巻 1140, 1141)

2. 全人類はキリストの死によって恩恵を受けている

- a. 荒野で掲げられた青銅のへびから、イエスはどの教訓を教えてくださいましたか（ヨハネ 3:14, 15）。

「イスラエルの民が火の蛇のかみ傷のために死にかけていた時、神はモーセに青銅の蛇を作……るように命じられた。そして蛇を仰ぎ見る者はみな生きられるという布告が陣営中に伝えられた。」（各時代の希望上巻 206）

「死に臨まれた救い主がかかっておられるカルバリーの十字架をわれわれは見あげなくてはならない。われわれの永遠の利益は、キリストに対する信仰をわれわれが示すように要求している。」（同上下巻 140）

- b. キリストの死のゆえに、神はすべての男女に、この現代の恩恵期間の人生において、どのような日ごとの祝福を授けておられますか（マタイ 5:45）。

「この世の生命さえキリストの死のおかげである。われわれの食べるパンは、キリストの裂かれたからだをもって買われたものである。われわれの飲む水は、キリストの流された血によって買われたのである。聖徒であろうと罪人であろうと、日ごとの食物を食べる者はだれでも、キリストのからだと血によって養われているのである。どのパンにもカルバリーの十字架の印がおされている。どの泉にもカルバリーの十字架が反映している。」（同上 141）

- c. キリストの死のゆえに、信者も不信者も同様に自分たちのこの世の生涯にかかわるすべてのものを享受している一方で、ただだけが永遠の命を受けますか（マタイ 7:2 ヨハネ第一 3:16; ローマ 2:7; 黙示録 22:14）。

「〔マタイ 7:21 引用〕。誠実を示すものは、ことばではなく、行為である。キリストは、あなたがたは、なんのすぐれたことを言うだろうかとは言われず、『なんのすぐれた事を行っているだろうか』と言われるのである（マタイ 5:47）。『もしこれらのことがわかかっていて、それを行うなら、あなたがたはさいわいである』というキリストのみことばは意味深い（ヨハネ 13:17）。ことばには、それにふさわしい行為が伴わなければ価値がない。」（キリストの実物教訓 248）

「神の言葉はわたしたちに、救われる者が少ないこと、そして大多数の人々は、召されている者たちでさえ自らが永遠の命を受けるにふさわしくないことを立証するであろうとはつきり教えている。彼らは天にあずかることがない。かえってサタンと共に自分たちの分を受け、第二の死を経験するのである。」（教会への証 2 巻 293, 294）

3. 満ちみちた許しが手の届くところに

- a. 犠牲制度の下で、律法は罪の許しのために何を要求していますか（ヘブル 9:22）。すべての人が許されることができるよう、キリストは何をなさいましたか（ローマ 5:8, 9）。

「多くの人々が、ユダヤ人の犠牲の捧げ物において、神がこれほど多くの犠牲をほふるように命じられたことに驚きを表明する。しかし、それは彼らの思いに血を流すことなしには罪の許しはないという偉大な真理をしっかりと固定させるためであった。教訓はすべての犠牲の中に具体化され、すべての儀式の中で印象づけられ、聖なる職務において祭司によって厳粛に説教され、神ご自身によってくり返し教えられたのは、キリストの血を通してのみ、罪の許しがあるということであった。わたしたちは民としてこの偉大な真理の力を感じることがなんと少ないことであろうか！生きた活動する信仰によってわたしたちの生活にこの偉大な真理、すなわち最小の罪のための許し、最大の罪のための許しがあるという真理をもち込むことがなんと少ないことであろうか！」（ビュー・アンド・ワールド 1886年9月21日）

- b. キリストの犠牲はどのように全人類を包含していますか。またそうであれば、わたしたちにはどのような義務がありますか（コリント第二 5:14, 15）。

「キリストはエルサレムの門の外で苦難を受けられた。なぜなら、カルバリーは城壁の外にあったからである。このことは、このお方がヘブル人のためばかりでなく、全人類のために死なれたことを示すのであった。」（SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7巻 934）

- c. どの条件の下に罪人は許されますか。またこのことは何に導きますか（ヨハネ第一 1:9; コロサイ 3:1-3）。

「贖いの計画はその単純さと完全さにおいてなんとすばらしいことであろう。それは罪人の完全な許しばかりでなく、不法者の回復をも提供し、その人が神の子として受け入れられるように道を開く。従順を通して、彼は愛と平和と喜びをもつ者となることができる。彼の信仰は、自分の弱さのうちに、キリスト、すなわち神聖な力の源に結びつけることができる。そしてキリストの功績を通して神の是認を見出すことができる。なぜなら、キリストは律法の要求を満たしたからである。そしてこのお方はご自分の義を悔いて信じる魂に着せてくださる。」（ビュー・アンド・ワールド 1891年3月10日）

4. 信仰による義認

- a. キリストがご自身の血によって人類の解放証書に署名されたとき、それまで「罪の下に売られてい」（ローマ 7:14）た全人類の法的な所有者はだれになりましたか（ペテロ第一 1:18-20）。

「この世に天のすべての宝を注ぎ込まれたことによって、キリストのうちに全天をわたしたちにお与えになることによって、神は人間一人びとりの意志、愛情、思い、魂を買われた。信者であろうと不信者であろうと、全人類は主の所有である。

わたしたちは創造と贖いによってこのお方のものである。わたしたちの体そのものが自分自身のものではない。……わたしたちの命とすべての機能がこのお方に属している。」（神の驚くべき恵み 173）

- b. キリストが所有権を獲得されましたが、今、このお方は神の息子むすめとして養子縁組の手続きを完成するために個人々人から何を要求しておられますか（ガラテヤ 3:26-29）。

「多くの者は……自分たちがサタンの臣民から神の子と変えられることができる前に聖霊によって自分たちのうちになされなければならない働きをわかっていない。……『だれでも新しく生まれければ』一新しい命へ導く新しい心、新しい願い、目的、動機を受けない限り—『神の国を見ることはできない』（ヨハネ 3:3）。……彼はもはや自分からキリストの敵の臣民とはならない。彼は信仰によって神の相続人となり、養子縁組によって神の子となるのである。」（サイン・オブ・タイムズ 1882年3月9日）

「悔いた罪人が神のみ前に深く悔い、キリストの贖罪が自分のためであることを理解し、この贖罪を今の生涯と将来の生涯の唯一の希望として受け入れるとき、彼の罪は許される。……

許しと義認は一つであり、同じことである。信仰によって信者は反逆する罪とサタンのこの立場から、キリスト・イエスの忠実な臣民の立場へ移る。それは先天的な善のゆえではなく、キリストが彼を養子縁組によってご自分の子として受け入れてくださるからである。罪人は自分の罪の許しを受ける。それは彼の身代わりと担保であるお方によってこれらの罪が負われるからである。主はご自分の天父に言われる、『これはわたしの子です。わたしは彼の死刑を猶予し、彼にわたしの生命保険証書—永遠の命—を与えました。なぜなら、わたしが彼に代わり、彼の罪のために苦しんだからです。彼はわたしの愛する子なのです』。こうして人は許され、キリストの義の美しい衣で覆われて、神の御前に傷のない者として立つのである。」（信仰と行い 103）

5. 神の律法が擁護される

- a. なぜダリヨス王はダニエルを救うことしか考えていなかったにもかかわらず、王自身の命令を犯したためにライオンの穴に投げ入れられることを止められなかったのですか（ダニエル 6:7-9, 15, 16）。
- b. 同様に、十字架上のキリストの死は神の聖なる律法の性質に関して、何を実証していますか（詩篇 111:7, 8）。キリストの死が神の律法を無効にしたという考えはだれが考案しましたか。

「神の律法を無効にし、救いの計画の真の意味をゆがめようとするのが、つねにサタンの目的である。であるから、彼はカルバリーの十字架のキリストの犠牲は人間を神の戒めを守る義務から解放するのが目的であったという偽りを考案した。……律法を廃しながら、天地と数え切れない諸世界の統治を維持し得るものであれば、キリストは死なれる必要はなかったのである。キリストの死はエホバの律法の有効性の問題を永久に決着するのであった。罪深い世の刑罰を余すことなく受けることによって、イエスは神と人との間の仲保者となられた。それは悔い改めた魂にいと高きお方の律法を守るための恵みを与えることによって、神の恩寵へと回復させるためであった。キリストは律法や預言者を廃するためではなく、それらを文字通り成就するために来られたのであった。カルバリーの贖罪は、墮落した世界の前でばかりでなく、天と墮落していない諸世界の前で、神の律法を聖にして正しくかつ真実なものとして擁護した。キリストは律法を大いなるものとし、誉あるものとするために来られたのであった。」（信仰と行い 118, 119）

個人的な復習問題

1. わたしたちはどのようにして実際的な方法でキリストへの自分たちの愛を表しますか。
2. わたしたちの言葉はいつ初めて他の人々の益となりますか。
3. 罪人のための許しと共に、贖いの計画は他に何を提供しますか。
4. わたしたちは神の息子むすめとして養子縁組されるために、何をしなければなりませんか。
5. 神の律法が不変であるという最も強力な証拠は何ですか。それはなぜですか。

キリストの復活

「兄弟たちよ。わたしが以前あなたがたに伝えた福音……を、思い起してもらいたい。……キリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえったこと」(コリント第一 15:1, 3, 4)

「イエスのよみがえりはこのお方にあつて眠っているすべての人の最終的な復活の型であつた。よみがえられた救い主の表情、ふるまい、言葉は、このお方の弟子たちにとってすべてなじみのあるものであつた。イエスが死人の中からよみがえられたように、このお方にあつて眠っている人々も再び起きるのである。」(終わりの時代の出来事 291)

推奨文献：各時代の希望下巻 309 ～ 329

日曜日

6月5日

1. キリストはご自分の復活をあらかじめ告げられた
 - a. イエスはご自分の死と復活を、どのようにあらかじめお告げになりましたか (マタイ 20:18, 19)。
 - b. キリストのご自分の復活に関する言葉の成就を妨害するために、ユダヤ人の指導者たちは安息日に何をしましたか (マタイ 27:62-66)。わたしたちはイエスのために香料を用意した女たちから、何を学ぶことができますか (ルカ 23:55, 56)。

「祭司たちは、墓場を守るように指示を与えた。入口の前に大きな石がおかれていた。彼らはこの石の上にひもを張り渡して両端を岩に固定し、ローマの印で封印した。封印を破らなければその石を動かすことができなかつた。それから墓をこじあげられないように、周囲に百人の番兵が配置された。祭司たちは、キリストのからだを、その置かれたところにおいておくためにあらゆる手を尽くした。キリストは、永遠に墓の中にとどめておかれるかのように、嚴重にそこに封印されていた。」(各時代の希望下巻 307, 308)

2. キリストの復活の光景

- a. 使徒たちによれば、イエスをよみがえらせたのはだれですか（使徒行伝 2:32; 13:33）。御父はイエスを命へと呼び戻すために、実際にだれを遣わされましたか（マタイ 28:1-3）。

「この使者は、サタンが落ちたあとの地位を占めている者である。……兵士たちは、彼がその石をあたかも小石のようにとりのぞくの見、彼が、神のみ子よ、姿を現してください、父があなたを呼んでおられますと叫ぶのを聞く。彼らはイエスがよみから現われて、開かれた墓のあたりで、『わたしはよみがえりであり、命である』と宣言されるのを聞く（ヨハネ 11:25）。イエスが威光と栄光のうちに姿を現わされると、天使の万軍は、あがない主をあがめて、その前に低く頭をたれ、賛美の歌でイエスを迎える。」（各時代の希望下巻 310）

- b. 神聖な神の御子は、ご自分の人間の体の復活の際に、どのような役割を果たされましたか（ヨハネ 2:19-22; 10:17, 18）。

「キリストの墓で、父があなたを呼んでおられますという強い天使の声がかかれたとき、救い主は、ご自身のうちにある生命によってよみから出てこられた。……キリストが祭司たちと役人たちに、『この神殿をこわしたら、わたしは三日のうちに、それを起すであろう』と語られた預言がいま成就した（ヨハネ 2:19）。」（各時代の希望下巻 315, 316）

- c. ローマの番兵や墓を護衛していた悪天使たちは、キリストがよみがえられるのを見たとき、どのように反応しましたか（マタイ 28:4）。キリストの復活によって、サタンの思いの中で、何が確認されましたか。

「ローマの番兵は恐怖にとりつかれた。イエスのなきがらを守る彼らの力は、今や消えうせた。彼らは、自分たちの任務とか、弟子たちがイエスのなきがらを盗み去りはしないかなどということは、考えなかった。天使たちの光が、太陽よりも明るく照りわたると、ローマの番兵たちは、死んだように地面に倒れた。……

サタンの悪天使たちは、善天使たちの鋭く輝く光の前に、逃げうせなければならなかった。……サタンは、ある時期がすぎると自分は死なねばならないことや、自分の王国が、正当な権利をもっておられるイエスの手に移らねばならないことを知った。あらんかぎりの努力をしたにもかかわらず、イエスはうち負かされるどころか、かえって人類のために救いの道を開き、その道を歩む者はだれでも救われるようになったことを、サタンは嘆き、怒った。」（初代文集 309, 310）

3. 永遠の命へとよみがえる

- a. イエスはご自分が人間として、すなわち天使たちのような霊としてではなく、身体を持った人間としてよみがえったことを、どのようにご自分の弟子たちに説明なさいましたか（ルカ 24:36-40）。彼が疑ったとき、彼らの疑いを取り除くために、このお方は何をなさいましたか（ルカ 24:41-43）。
- b. 聖書はキリストのよみがえった人間の体を、どのように描写していますか（ピリピ 3:21）。キリストのよみがえった体は、わたしたちの現在の死すべき体とは、どのように違いますか（ローマ 6:9, 10; ヘブル 7:16）。
- c. サタンはキリストの復活の影響を損なうために、どのような計画を考案しましたか。そしてこの企みはどのように実行されましたか（マタイ 28:11-15）。

「サタンは部下の者たちに、祭司の長と長老たちのところへ行くように命じた。彼はこう言った、『われわれは彼らを欺き、イエスに対して彼らの目をおおい、その心をかたくなにすることに成功した。われわれは彼らに、イエスが詐欺師だと信じさせた。あのローマ人の番兵は、キリストがよみがえったという憎むべき知らせをひろめるだろう。われわれは祭司や長老たちにイエスを憎ませ、殺させた。だから、もしイエスがよみがえったことが知れわたったら、彼らは罪のない人間を殺したかどで石で打たれると、彼らに思わせるがよい。』……

そこで兵士たちを買収して、この事を秘密にしておこうときめた。祭司と長老たちは、多額な金銭を兵士たちに提供し……番兵たちは、任務についていて眠ったということになると、どんなことになるのだろうとたずねたが、ユダヤの役人たちは、総督を説得してお前たちの身の安全を保証してやると約束した。金銭のために、ローマ人の番兵たちは名誉心を売り、祭司と長老たちの勧めに従うことを承知した。」（初代文集 310-312）

「それから、いつわりの知らせが兵士たちにさずけられた。……ここで彼らは自ら策略につまずいた。兵士たちは、自分たちが眠っている間に弟子たちがイエスのからだを盗んだと、どうして言うことができよう。もし、眠っていたらどうしてそれがわかろうか。そして、もし弟子たちがキリストのからだを盗んだという証拠があったのだったら、祭司たちはまっさきに弟子たちの罪を鳴らしたのではないだろうか。あるいはまた、番兵たちが墓で眠ったのだったら、祭司たちはまっさきにこの番兵たちをピラトに訴えたのではないだろうか。」（各時代の希望下巻 313）

4. キリストの勝利の戦利品

- a. サタンが考案した隠蔽（いんべい）を制御するために、神は先にどのような対抗手段を計画なさいましたか（マタイ 27:50-53）。

「イエスが十字架につけられて、『すべてが終った』と叫ばれたとき、岩は裂け、地はふるい、墓のいくつかが開かれた。……イエスが、死と陰府に勝利したお方としてよみがえられたとき、キリストの召しに従った者として死んだ多くの義人が、キリストのよみがえりの証人として姿を現した。これらの恵まれた、よみがえった聖徒たちは、栄化された姿で現れた。彼らは、創造の時からキリストの時代までにいたる、各時代のえらばれた聖徒たちだった。こうしてユダヤの指導者たちが、キリストのよみがえりの事実をひたかくしにかくそうとしていたときに神は一団の人々を墓からよみがえらせて、イエスのよみがえりを立証させ、神の栄光を宣言させられたのであった。……

イエスのよみがえりにつづいて出てきた人たちは、多くの人々に現れて、人類のために犠牲のささげ物が完成されたことと、ユダヤ人が十字架につけたイエスが死からよみがえられたことを告げた。そして、そのことばの証拠として、『われわれは彼と共によみがえった者である』と宣言した。彼らは、自分たちが墓から呼び出されたのは、イエスの大いなる力によるものだと証言した。」（初代文集 312, 313）

- b. どの旧約の預言が、キリストの復活の日にこのお方によみがえらされた人々によって成就しましたか（イザヤ 26:19）。これらの復活した聖徒たちは、このお方が死以前によみがえらせた人々と、どのように違いますか（ヨハネ 11:43, 44; ルカ 7:11-15）。

「キリストは、その公生涯の間に、死人をいのちによみがえらせられた。彼はナインのやもめの子と、会堂司の娘とラザロをよみがえらせられた。しかし、彼らは不死を着せられなかった。彼らはよみがえってからも、やはり死ぬべきからだであった。しかし、キリストの復活のときによみから出て来た者たちは永遠の生命によみがえったのであった。彼らは、死とよみに対するキリストの勝利を記念する者として、キリストと共に昇天した。この人たちはもはやサタンのとりこではない、わたしが彼らをあがなったのだとキリストは言われた。彼らがわたしのいるところに共にいて、決して死を見たり、悲しみを経験することがないように、わたしは彼らをわたしの力の初穂として、よみからつれ出したのだ。」（各時代の希望下巻 317）

5. キリストの復活の重要性

- a. キリストの復活によって信者たちのどの希望が確かなものとされましたか（コリント第一 15:20-23; ヨハネ 6:40; テサロニケ第一 4:14-17）。
- b. 復活したクリスチャンは、どのような種類の体を持っていますか。またなぜ不死に変えられる必要があるのですか（コリント第一 15:50-53）。

「救い主のよみがえられた体、このお方のふるまい、言葉の抑揚はみな、このお方に従う人々になじみのあるものであった。同様にイエスのうちに眠っている人々も再びよみがえるのである。わたしたちは、弟子たちがイエスを知っていたように、自分たちの友人を知る。彼らはこの死すべき生涯においては、奇形であったり、病気であったり、醜かったりしたかもしれないが、なお彼らの復活した栄光の体において、彼らの個々の独自性は完全に保たれており、わたしたちはイエスのみ顔からの光で明るく輝いている顔に、愛する者の容貌を認めるのである。」（信仰によってわたしは生きる 180）

- c. 旧約のどの象徴的な儀式がキリストの復活をあらかじめ示していましたか（レビ記 23:10-12; コリント第一 15:20）。

「キリストは眠った者の初穂として死人の中からよみがえられた。彼は揺祭のたばの本体であって、そのよみがえりは揺祭のたばが主の前にささげられる日に起った。……キリストのよみがえりはすべての死せる義人のよみがえりの型であり保証である。」（各時代の希望下巻 316）

個人的な復習問題

1. ユダヤ人の指導者たちは、なぜイエスの体を確保するために、長距離を行ったのですか。
2. イエスの体をよみがえらせたのは実際にだれですか。
3. キリストのよみがえりは、サタンの運命に関して、何を確認しましたか。
4. キリストと共によみがえらされた人々について、何が特別でしたか。
5. 神の御国を継ぐことのできない「血と肉」とは何ですか。

キリストの昇天

「イエスは〔弟子たち〕をベタニヤの近くまで連れて行き、手をあげて彼らを祝福された。祝福しておられるうちに、彼らを離れて、天にあげられた。」(ルカ 24:50, 51)

「彼らが天に昇られるのを見たその同じイエスが、昇られたのと同じさまで再び来られるのである。この保証は、今までも、世の終わりまでも、キリストを真に愛するすべての人の希望であり、喜びである。」(サイン・オブ・タイムズ 3 巻 254)

推奨文献：各時代の希望下巻 379 ～ 387

日曜日

6月12日

1. 御父への短い訪問

- a. イエスは復活後に、マグダラのマリアが初めてご自分を認めたときに、何と言われましたか (ヨハネ 20:14-17)。
- b. マリアへのこのお方の返答に基づいて、イエスは後にその日曜日の朝に天へ昇られ、同日戻ってこられたことを、何が示唆していますか (ヨハネ 20:19-27; マタイ 28:18)。

「イエスは、ご自分の犠牲が天父によって受け入れられたとの確証が与えられるまではご自分の民から尊敬を受けようとされなかった。イエスは天の宮廷へのぼり、その血によってすべての人が永遠の生命を得られるように、イエスが人類のために払われたあがないは充分であったとの保証を神ご自身から聞かれた。天父はキリストとの間の契約、すなわち悔い改めて従う者たちを受け入れ、み子を愛されるように、彼らを愛されるという契約を批准された。……天と地のいっさいの権力はいのちの君に与えられたので、イエスは、ご自分の権力と栄光をわけ与えるために、罪の世にある弟子たちのもとへお帰りになった。」(各時代の希望下巻 324)

2. キリストの地上における最後の日々

- a. イエスはご自分の復活後、どれくらいの間、地上に残られましたか。そしてこのお方はこの間、ご自分に従う人々とどのようなことをされましたか(使徒行伝 1:1-3; ルカ 24:45, 46)。

「四十日間、キリストは地上にとどまられて、弟子たちにゆだねられた仕事の準備をさせ、彼らがこれまで理解できていなかったことを説明された。主はご自身の来臨のことや、ユダヤ人に拒まれたこと、またご自身の死についての預言のことを語り、これらの預言がことごとく成就してきたことを指摘された。キリストはこの預言の成就こそ、取りも直さず弟子たちのこれからの仕事に、力がさずけられることを確認するものだとして理解しなければならないと、彼らに語られた。……

キリストが弟子たちと共に過ごされたこの四十日間に、彼らは新しい経験を得た。敬愛する恩師が、既に起こったことに照らして聖書を説明されるのを聞きながら、彼らは主を信ずる信仰を十分に確立した。」(患難から栄光へ上巻 19, 20)

- b. キリストは昇天なさる前に、ご自分の弟子たちにどの任務をお与えになりましたか。またこの働きはどれほど遠大なものですか(マルコ 16:15; マタイ 28:19, 20)。彼らの宣教の働きはどこから始まるべきでしたか。またそれはなぜですか(使徒行伝 1:8)。

「昇天される前に、キリストは弟子たちに任務をお与えになった。……あなたがたは、この世のためにしたわたしの犠牲の生涯の証人となったのだと、主は彼らに言われた。あなたがたは、わたしがイスラエルのためになしたわざを見てきた。そして、たとえわたしの民が……わたしを拒んだとしても、彼らには神のみ子を受け入れるまた別の機会が与えられているのである。自分の罪を告白して、わたしのもとに来る者を、わたしがみな快く受け入れるのをあなたがたは見てきた。わたしのもとに来る者をわたしは決して追い出しはしない。わが弟子たちよ、わたしはあなたがたにこの恵みのメッセージをゆだねる。それは、ユダヤ人にも異邦人にも、最初にイスラエル人に、それからすべての民族、国語、国民らに与えられなければならない。」(患難から栄光へ上巻 20, 22)

「エルサレムにはナザレのイエスがメシヤだと、ひそかに信じていた人々が大量にいたし、祭司や役人にだまされていた人々も大量にいた。こうした人々に福音は宣べ伝えられなければならない。彼らは悔い改めるように招かれなければならない。キリストを通してはじめて、罪の赦免がなされるという驚くべき真理が明らかにされなければならない。また、過去数週間の感動的な事件に、エルサレム全体がわき立っていたあいだこそ、弟子たちの説教は最も深く影響を及ぼすことであろう。」(同上 26)

3. キリストは二度目に昇天される

- a. イエスはご自分の昇天の場所としてベタニヤにあるどの特定の場所を選ばれましたか(ルカ 24:50, 51)。他にどの経験が、この場所をキリストにとって思い出深いものとなりましたか。

「イエスは、昇天の場所として、在世中そのご臨在によって幾度もきよいところとされた場所をえらばれた。……山の森や谷はイエスの祈りと涙できよめられたのだった。そのけわしい坂はイエスを王として宣言した群衆の勝利の叫びをこだましたのだった。その下り坂にあるベタニヤにはイエスがよく行かれたラザロの家があった。山のふもとのゲッセマネの園で、主はただひとり祈り、苦しめられたのだった。この山から、イエスは天へのぼろうとしておられた。」(各時代の希望下巻 379, 380)

- b. イエスの昇天にあたり天使たちは、どのように弟子たちを慰めましたか(使徒行伝 1:9-11)。

「イエスの昇天にあたり弟子たちにとって最も尊かった事実は、このお方が自分たちの神聖な教師という触れる姿で自分たちのもとから天へ昇られたということであった。彼らと共に歩まれ、語られ、祈られたその同じイエスが、すなわち彼らと共にパンを分かち合われたお方、彼らと共に湖上で自分たちの舟におられたお方、彼らと共に森の中に奥まった場所をお求めになったお方、そしてまさにその日オリブ山の急な坂を彼らと共に苦勞して登られたお方、このお方が人の姿のうちに昇天されたのであった。」(預言の霊 3 巻 254)

- c. なぜイエスにとって天に行かれることが目的にかなっていたのですか(ヨハネ 16:7; 14:16, 26)。

「聖霊はキリストの代表者であるが、人間の個性を備えておられないので、これに拘束されない。キリストは、人性の制約を受けておられたので、どこへでもみずから行かれるわけにいかなかった。だから、キリストが父のみもとに行かれて、地上におけるご自分の後継者として聖霊をお送りになることは彼らの利益であった。そうすれば、場所やキリストとの個人的接触などによる特典はだれにもないのであった。みたまによって、救い主はだれにでも近づかれるのであった。この意味において、主は、天にのぼられなかったとした場合よりも一層近く彼らのそばにおられるのであった。」(各時代の希望下巻 153)

4. 神の都に栄光のうちに入られる

- a. キリストと共に、他にだれが昇天しましたか。また彼らが神の都に入る前に、彼らはどのような歓迎を受けましたか（マタイ 27:52, 53; エペソ 4:8; 詩篇 24:7-10）。

「〔救い主が〕昇天されるとき、このお方は道を先導された。そして、ご自分が墓から出てこられた時に死人からよみがえらせた捕われ人の群れがあとに従った。天の万軍は喜びと勝利の歌をもって、このお方を上へと護衛した。」（サイン・オブ・タイムズ 1895年10月31日）

「そのとき神の都の門があげ放たれ、天使の群れは、歓喜の音楽でわきたつ中を、門を通りすぎる。……

天使の軍勢の指揮者たち、神の子ら、他世界の代表者たちが集まっている。ルシファーが神とみ子を訴えた天の会議、サタンが自分の主権をうちたてようと考えた罪のない世界の代表者たち、一すべての者たちがあがないの主を歓迎するためにそこにいる。彼らはキリストの勝利を祝い、彼らの王をあがめようと熱心に待ちかまえている。」（各時代の希望下巻 385）

- b. キリストはご自分の弟子たちのために、何を要求なさいましたか。そして御父は彼らについて、何と宣言されましたか（ヨハネ 17:24; エペソ 1:6）。

「地の基が置かれる前から、天父とみ子は、……キリストが人類の保証人になれるという厳粛な誓約をかわしておられた。この誓約をキリストは果たされたのである。……契約は完全に果たされた。そしていまイエスは、こう宣言される。父よ、すべてが終わりました。わが神よ、わたしはあなたのみこころをなしました。わたしはあがないのわざを完結しました。もしあなたの正義が満足させられましたならば、『あなたがわたしに賜わった人々が、わたしのいる所に一緒にいるようにして下さい』（ヨハネ 19:30;17:24）。

正義は満足させられたと宣告される神のみ声が聞こえる。サタンは征服された。地上にあつて苦勞し、戦っている人々は『愛する御子によって』受け入れられる（エペソ 1:6）。天のみ使いたちと他世界の代表者たちの前で、彼らが義とされたことが宣告される。

……天父はみ子をだきかかえ、『神の御使たちはことごとく、彼を拝すべきである』とのみことばが発せられる（ヘブル 1:6）。」（同上 386）

5. キリストの即位

- a. 天の御使たちは、どのような言葉をもって、イエスをほめたたえましたか（黙示録 5:12）。

「言いあらわすことのできないよろこびをもって、主権者も支配も権威も生命の君の主権を承認する。天使の万軍がキリストの前にひれ伏すと、『ほふられた小羊こそは、……ふさわしい』とのよろこびの叫びが、天のすべての宮廷を満たす（黙示録 5:12）。」（各時代の希望下巻 386, 387）

- b. どの儀式がキリストのために執り行われましたか。そしてこの儀式が終わるや否や、このお方の弟子たちに対するどの約束が成就しましたか（ヨハネ 16:7-13; 使徒行伝 1:8; 2:1-4）。

「キリストの昇天は、主に従う者たちが約束の祝福を受けることのできるしであった。彼らは、仕事にとりかかる前にこれを待たなければならなかった。キリストは天の門の中に入って行かれて、天使たちのさんびのうちに王座につかれた。この儀式が終わるとすぐ、聖霊は豊かな流れとなって弟子たちの上にくんだり、キリストは永遠の昔から父と共に持つておられた栄光をお受けになった。ペンテコステの聖霊降下は、あがない主の就任式が完了したことを知らせる天からの通報であった。主は、その約束に従って、ご自分が祭司、また王として、天と地のすべての権威を引き継ぎ、神の民の上に立つ油そそがれた者となられたしるしとして、弟子たちに天から聖霊を送られたのであった。」（患難から栄光へ上巻 33, 34）

個人的な復習問題

1. イエスはどのようにして罪のためのご自分の犠牲が御父に受け入れられたことを確かめることがおできになりましたか。
2. どのようにして、わたしたちは弟子たちのように福音を伝えることにおいてキリストのための証人となることが出来ますか。
3. 慰め主は全人類にどの特別な祝福をもたらしますか。
4. キリストの就任式に、だれが出席しましたか。
5. 天におけるご自分の就任式の間、キリストはどの職務に就かれたのですか。

キリストの祭司職

「以上述べたことの要点は、このような大祭司がわたしたちのためにおられ、天にあって大能者の御座の右に座し、人間によらず主によって設けられた真の幕屋なる聖所で仕えておられる、ということである。」(ヘブル 8:1, 2)

「天の聖所における、人類のためのキリストのとりなしは、キリストの十字架上の死と同様に、救いの計画にとって欠くことのできないものである。」(各時代の大争闘下巻 222)

推奨文献：各時代の争闘下巻 119～150

日曜日

6月19日

1. メルキゼデクに等しい祭司

- a. キリストは祭司として王として、何に等しい祭司職に就かれましたか(ヘブル 6:20)。メルキゼデクについて、何と記されていますか(ヘブル 7:1-4; 創世記 14:18-20)。

「メルキゼデク、すなわちいと高き神の祭司を通して語られたのはキリストであった。メルキゼデクはキリストではなかった。しかし、彼は世における神の声であり、御父の代表であった。」(エレテッド・メッセージ 1 巻 409)

- b. キリストがメルキゼデクに等しい祭司として就任されたとき、務めのためにどの聖所に入られましたか(ヘブル 8:1, 2)。地上の聖所とその奉仕はどうなりましたか(マタイ 27:50, 51)。

「神殿の幕が裂けたことは、ユダヤ人の犠牲と儀式がもはや神に受け入れられなくなった証拠であった。大いなる犠牲であられるキリストがささげられて、神に受け入れられたのであった。そして、ペンテコステの日にくだった聖霊によって、弟子たちの心は地上の聖所から天の聖所へ向けられた。イエスはご自身の血によってそこへ入り、贖いの恩恵を弟子たちにそそがれるのであった。……天の聖所が地上の聖所に代わった。」(初代文集 422)

2. 神の御前で

- a. わたしたちの大祭司として、キリストの職務の一つは何ですか（テモテ第一 2:5）。ご自分の仲保の働きをなさるために、イエスはどこにおられなければなりませんか（ヘブル 8:1; コロサイ 3:1）。
- b. ヨハネが幻の中で、キリストの昇天後、ご自分の民に奉仕しておられるキリストを見たとき、神の御座は、どこに位置していましたか（黙示録 4:2, 5; 8:3, 4）。

「天の聖所の聖所と至聖所は、地上の聖所の二つの部屋によって表わされている。使徒ヨハネは、幻のなかで、天にある神の宮を見ることを許されたとき、『七つのともし火が、御座の前で燃えてい』るのを見た（黙示録 4:5）。彼は、一人の天使が、『金の香炉を手に持って祭壇の前に立った。たくさんの香が彼に与えられていたが、これは、すべての聖徒の祈に加えて、御座の前の金の祭壇の上にささげるためのものであった』のを見た（黙示録 8:3）。ここで、預言者は、天の聖所の第一の部屋を見ることを許された。そして、そこに、地上の聖所の金の燭台と香壇によって表わされていたところの、『七つのともし火』と『金の祭壇』を見た。」（各時代の大争闘下巻 127）

- c. イエスがご自身の血をもって天の聖所と呼ばれている第一の部屋に入られたとのヨハネの証を、パウロはどのように確証しましたか（ヘブル 9:8, 11, 12）。
- d. わたしたちは神の御座の車が、永久的に至聖所の中の契約の箱に付随しているというよりは、場所を移ることができるものだということが、どのようにわかりますか（エゼキエル 1:15-17, 24-26）。

「わたしは、父なる神が御座から立たれて、炎の車に乗って幕のなかの至聖所にはいられ、お座りになるのを見た。それから、イエスが御座から立ち上がられた。そして、頭をたれていた人々の大部分が、彼とともに立ち上がった。」（初代文集 125）

3. 「幕の内に」

- a. 聖書はキリストが昇天の時に入られた天の聖所の第一の部屋を言及するのに、他にどの言葉を用いていますか（ヘブル 6:18-20; 民数記 4:25, 26）。

「戸口であり、聖所を中庭から区別するものであった『幕の内』において、すなわち、聖所の第一の部屋において一年を通じて行なわれる祭司の務めは、キリストが昇天の時に始められた務めを表わしている。……同様にキリストは、罪人のためにご自分の血をもって天父に嘆願なさり、そのみ前に、ご自身の義の尊い香とともに、悔い改めた信者の祈りを差し出された。これが、天の聖所の第一の部屋における務めであった。」（各時代の争闘下巻 135）

- b. もし聖所から出てきた祭司が、契約の箱のある「幕の内」に入るとすれば、どの幕をさしていますか。また「幕の内」という表現はどの部屋をさしていますか（ヘブル 9:3; 出エジプト記 26:31-33; レビ記 16:2, 15）。

「一年に一度、大いなる贖罪の日に、……二頭のやぎが幕屋の入り口に連れてこられ、くじが引かれた。……（レビ記 16:8）主のためのくじに当たったやぎは、民のための罪祭としてほふられた。そして、大祭司は、その血を幕の中に携えていき、贖罪所の上と贖罪所の前に注がなければならなかった。」（同上 132）

- c. 靈感はどのようにまた「幕の内」を、第一もしくは第二のいずれかに特定して言及することなく、聖所全体をさすために用いていますか（民数記 18:5, 7. [祭壇と聖所（5節）は「祭壇」と「幕の内」（7節）に並列していることに注目のこと]）。

「神の武具で身を固め、毎日幾ぶんかの時間を瞑想と祈りと聖書研究にささげる人々は、天とつながり、周囲の人々に救いの変化させる感化を及ぼすようになる。……彼らの熱心な祈りは幕の内に入るのである。」（教会への証 5巻 112, 113）。

4. 心の内に律法を記す

- a. 天の聖所に奉仕する者として、キリストはどの契約の下で、わたしたちの仲保者として働いておられますか（ヘブル 8:6; 9:11）。

「〔ヘブル 8:1, 2 引用〕ここに、新しい契約の聖所が明らかにされている。初めの契約の聖所は、人によって張られ、モーセによって建てられたが、これは、人間によらず主によって張られている。初めの聖所では、地上の祭司たちが務めを行なったが、こちらの聖所では、われわれの大祭司、キリストが、神の右で仕えておられる。一方の聖所は地上にあったが、もう一方は天にあるのである。」（各時代の
大争闘下巻 125）

- b. キリストの奉仕は新しい契約の下へ来る人々の心のうちに、どの神聖な目的をなし遂げなければなりませんか（ヘブル 8:8-11）。心の内にしるされた律法を持つとは、どういう意味ですか（ローマ 2:14, 15; テトス 2:14）。

「心の内に記された神の律法を持つ人々は、人よりも神に従い、神の戒めからわずかにでもそれるより、すべての人に従わないようになる。」（教会への証 1 巻 361）

「神の律法が心の内に記されると、それは純潔で聖なる生涯に表されるようになる。……イエスを愛し、戒めを守るすべての人は、まさに悪と見えることでも避けようとする。……彼らは自己満足を感じることなく、自分たちの信頼を神においている。このお方だけが彼らを罪と不純から守ることがおできになるのである。」（ビュー・アズ
ド・ハルト 1887 年 5 月 17 日）

- c. キリストはご自分とサタンの間の大争闘を、ご自分に有利に終結するためには、教会をどの状態に導き入れなければなりませんか（エペソ 4:11-14; 5:25-27）。

「救い主は、その思いにおいてさえ、誘惑の力に屈服されなかった。……サタンは、神の子の中に、彼に勝利を得させるなんのすきも見つけることができなかった。神のみ子は、天父の戒めを守られた。そして、サタンが自分に有利に活用することのできる罪が、彼の中にはなかった。これが、悩みの時を耐えぬく人々のうちになければならぬ状態なのである。」（各時代の
大争闘下巻 397）

5. 許しをご自分の民に与える

- a. だれがわたしたちのために神に嘆願していますか。またこのお方はわたしたちの罪のための許しを得るために、どの論拠を用いておられますか（ヘブル 9:11-15, 22; 7:25）。

「わたしたちにはよみがえられた主、高いところへ昇られ、いつもわたしたちのためにとりなしをなすために生きておられるお方がおられる。……御父の前に、このお方はわたしたちの罪のための許しのためのご自分の血を訴えておられる。」（ビュー・アード・ハルド 1886年9月21日）

- b. 自分の罪と品性の不完全さのゆえに失望している人々に、どの励ましが与えられていますか（ヨハネ第一 1:9; 2:1, 2; ヘブル 12:2, 3）。

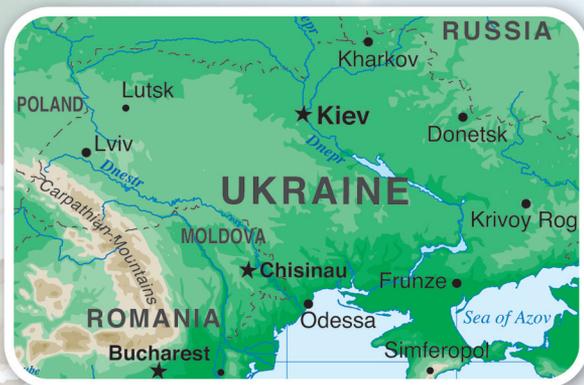
「イエスがあなたを愛しておられることを信じなさい。そして真理に従うためにあなたが努力する際、もしあなたが過ちを犯しても、自分で悩みに悩まなければならないと感じ、神への信頼を放棄し、神があなたの敵であると思ってはならない。……あなたは不純から自分自身を清めることはできない。あなたのすべての重荷をイエスの許へ持っていきなさい。このお方はあなたを助けてくださる。このお方はあなたが待ったり、自分のよい行いを通して罪のための贖罪をなし、自らを義とすることを期待したりすることを望んでおられない。十字架につけられ、よみがえられた救い主の血の功績に信頼しなさい。」（上を仰いで 376）

「わたしたちはしばしば、自分の不足や過ちのために、イエスの足元に伏して涙を流さなければならないかもしれない。しかし、失望してはならない。たとえもしわたしたちが敵に打ち負かされたとしても、神との関係が絶たれたのでも、捨てられたのでも、拒まれたのでもない。否、わたしたちのためにとりなしもしてくださるキリストが神の御座の右におられるのである。」（キリストを映して 123）

個人的な復習問題

1. イエスが十字架上で死なれた際に、宮の幕が裂けたことは何を意味していますか。
2. 天の聖所の二つの部屋は地上の幕屋の二つの部屋に相応することが、どのようにわかりますか。
3. 靈感によって用いられる際、「幕の内」の三つの意味は何ですか。
4. 神の律法が心に記されるとはどういう意味ですか。
5. 過ちに陥っているキリストの教会員に、どの励ましが与えられていますか。

第一安息日献金



4月2日

ウクライナ、コロシミアの
礼拝堂のために
(4 ページ参照)

5月7日

世界のミッションのために
(30 ページ参照)



6月4日

モンテネグロ、ポドゴリカの
礼拝堂のために
(51 ページ参照)